

令和6年度 三田市市民意識調査 調査結果報告書

令和6年12月
三田市

目次

| | |
|------------------------|----|
| I 調査概要..... | 1 |
| 1. 調査目的..... | 1 |
| 2. 調査内容..... | 1 |
| 3. 調査方法..... | 2 |
| 4. 標本誤差..... | 3 |
| 5. 報告書の見方..... | 4 |
| 6. 設問の構成とまとめ..... | 5 |
| II 調査結果..... | 8 |
| 1. 回答者の属性..... | 8 |
| 2. まちづくりや市政全般について..... | 17 |
| (参考) 調査票..... | 58 |

I 調査概要

1. 調査目的

この調査は、市民生活での基本的な意識について把握することにより、第5次三田市総合計画の進捗確認、今後の施策運営の基礎資料を得ることを目的としています。

2. 調査内容

(1) 回答者の属性

- | | |
|----|--------|
| 問1 | 居住地区 |
| 問2 | 年齢 |
| 問3 | 世帯構成 |
| 問4 | 家族構成員 |
| 問5 | 職業 |
| 問6 | 通勤、通学先 |

(2) まちづくりや市政全般について

- | | |
|-----|--------------------------------------|
| 問7 | 日常生活での健康づくりの取り組み状況 |
| 問8 | 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況 |
| 問9 | 「かかりつけ医」の有無 |
| 問10 | 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況 |
| 問11 | 隣近所との困った時の助け合い |
| 問12 | 隣近所との付き合いの程度 |
| 問13 | 地域活動への参加状況 |
| 問14 | 三田市のまちづくりへの関心度 |
| 問15 | 三田市のまちづくりで関心のある分野 |
| 問16 | 三田市のまちづくりに関心がない理由 |
| 問17 | よりよい三田のまちのための取り組み状況 |
| 問18 | よりよい三田のまちのために行っている事例 |
| 問19 | 今後の三田市での居任意向 |
| 問20 | 転出・転居したい理由 |
| 問21 | 人権問題の解決に向けての自分の努力 |
| 問22 | 三田市役所に対する信頼の程度 |
| 問23 | 三田市役所を信頼できない理由 |
| 問24 | 「SDGs（持続可能な開発目標）」の17のゴールの中で興味のあるジャンル |
| 問25 | まちづくりの各分野の満足度と重要度 |

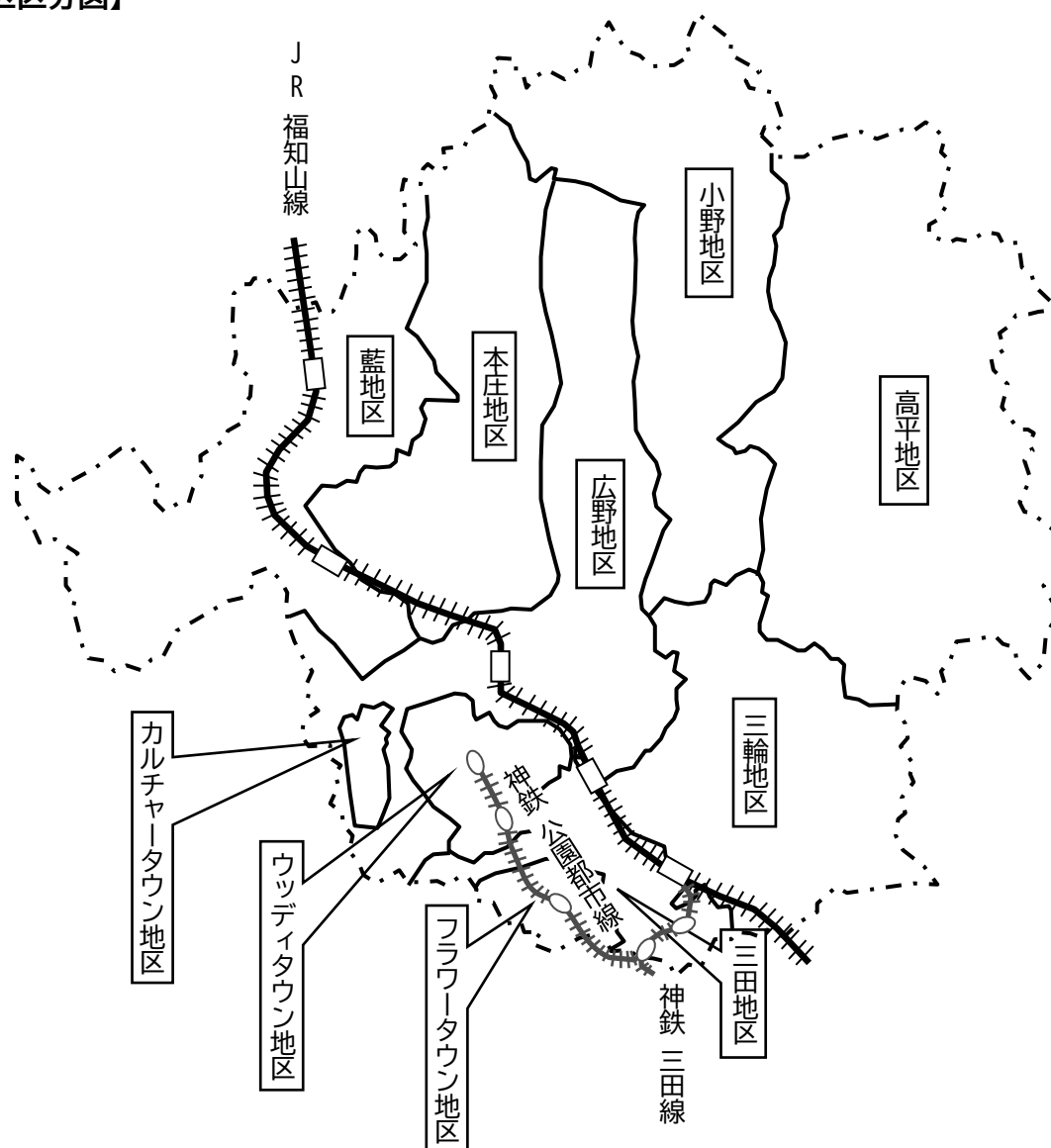
3. 調査方法

- (1) 調査地域 三田市内
 (2) 調査対象 市内に在住する18歳以上の市民3,000人
 (3) 抽出方法 地域ごとの人口分布を考慮した無作為抽出
 (4) 配布方法 郵送
 (5) 回収方法 郵送（インターネットによる回答も可）
 ※お礼状兼督促状1回送付
 (6) 調査期間 令和6年7月1日（月）～ 7月31日（水）
 (7) 有効配布数 3,000件（不到着5件）
 (8) 有効回収数 1,457件（回収率48.6%）
 ※インターネットによる回答491件含む

【地区別配布・回収結果】

| 地区名 | 配布数 | 不着数 | 実質配布数 | 回収数 | 回収率 |
|------------|-------|-----|-------|-------|-------|
| 三田地区 | 372 | 1 | 371 | 197 | 53.1% |
| 三輪地区 | 418 | 2 | 416 | 149 | 35.8% |
| 広野地区 | 159 | - | 159 | 78 | 49.1% |
| 小野地区 | 58 | - | 58 | 30 | 51.7% |
| 高平地区 | 82 | - | 82 | 40 | 48.8% |
| 藍地区 | 261 | - | 261 | 128 | 49.0% |
| 本庄地区 | 53 | - | 53 | 28 | 52.8% |
| フラワータウン地区 | 585 | 1 | 584 | 295 | 50.5% |
| ウッディタウン地区 | 925 | 1 | 924 | 457 | 49.5% |
| カルチャータウン地区 | 87 | - | 87 | 34 | 39.1% |
| 不明（無回答） | - | - | - | 21 | - |
| 合計 | 3,000 | 5 | 2,995 | 1,457 | 48.6% |

【地区区分図】



4. 標本誤差

一般的に、標本調査においては、標本（有効回答）から母集団（総人口）の精度として、信頼度 95% のレベルでの結果を評価することが妥当とされています。

（信頼度 95% とは、同一の調査を 100 回実施すれば 95 回は、この結果数値の前後の一定の幅の間におさまるとのこと。）

そして、この信頼度 95% における測定値（%）の標本誤差は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (100-P)}{n}}$$

N：母集団数（18 歳以上の市民 90,691 人（令和 6 年 7 月末日現在））

n：標本数（本調査では回答総数=1,457）

P：測定値（%）（本調査では回答比率）

【信頼度 95%における主要な標本誤差】

| 標本数 | P(%) n | 5% | 10% | 15% | 20% | 25% | 30% | 35% | 40% | 45% | 50% |
|-----|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 95% | 90% | 85% | 80% | 75% | 70% | 65% | 60% | 55% | 50% |
| | 3,000 | ±0.8% | ±1.1% | ±1.3% | ±1.4% | ±1.5% | ±1.6% | ±1.7% | ±1.7% | ±1.8% | ±1.8% |
| | 2,500 | ±0.8% | ±1.2% | ±1.4% | ±1.5% | ±1.7% | ±1.8% | ±1.8% | ±1.9% | ±1.9% | ±1.9% |
| | 2,000 | ±0.9% | ±1.3% | ±1.5% | ±1.7% | ±1.9% | ±2.0% | ±2.1% | ±2.1% | ±2.2% | ±2.2% |
| | 1,500 | ±1.1% | ±1.5% | ±1.8% | ±2.0% | ±2.2% | ±2.3% | ±2.4% | ±2.5% | ±2.5% | ±2.5% |
| 全体 | 1,457 | ±1.1% | ±1.5% | ±1.8% | ±2.0% | ±2.2% | ±2.3% | ±2.4% | ±2.5% | ±2.5% | ±2.5% |
| | 1,000 | ±1.3% | ±1.8% | ±2.2% | ±2.5% | ±2.7% | ±2.8% | ±2.9% | ±3.0% | ±3.1% | ±3.1% |
| | 500 | ±1.9% | ±2.6% | ±3.1% | ±3.5% | ±3.8% | ±4.0% | ±4.2% | ±4.3% | ±4.3% | ±4.4% |
| | 250 | ±2.7% | ±3.7% | ±4.4% | ±5.0% | ±5.4% | ±5.7% | ±5.9% | ±6.1% | ±6.2% | ±6.2% |
| | 100 | ±4.3% | ±5.9% | ±7.0% | ±7.8% | ±8.5% | ±9.0% | ±9.3% | ±9.6% | ±9.7% | ±9.8% |

この表について、例えば、回答総数（1,457）を 100.0%とする設問で、選択肢に対する回答率が 90%であった場合、18 歳以上の市民（90,691 人）における回答比率の誤差範囲は、±1.5%（88.5%～91.5%）の間であることを推測できます。

なお、クロス集計の場合、回答者数（該当者数）が 50 人未満の場合は標本誤差が多いため、参考に留めてください。

5. 報告書の見方

- ① 集計結果は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。複数回答を求めた設問は、回答者に対する割合を示しているため合計が 100.0%を超えています。
- ② 「全体」は、回答者数（1,457）であり、「回答総数」は複数回答の場合の全回答数を指しています。「n」は各設問の母数を、「n（該当者）」は回答者を特定した場合の母数を表しています。
- ③ 地区別集計は、地区区分として、三田地区、三輪地区、広野地区、小野地区、高平地区、藍地区、本庄地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区に分けて分析しています。
- ④ 年代別や地区別は、対象者ごとに%を算出しており、複数回答については、第 1 位、第 2 位、第 3 位として順位を表しています。
- ⑤ 複数の回答を合わせた『取り組んでいる』などは、回答者数を全体で除しており、単数の合計とは合わないことがあります。

6. 設問の構成とまとめ

| 設問のねらい・趣旨 | 設問項目 | |
|---|---|--|
| ◆第5次三田市総合計画の成果指標の進捗や今後の三田市での居住意向などを把握します。 | 問7 日常生活での健康づくりの取り組み状況 | |
| | 問8 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況 | |
| | 問9 「かかりつけ医」の有無 | |
| | 問10 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況 | |
| | 問11 隣近所との困った時の助け合い | |
| | 問12 隣近所との付き合いの程度 | |
| | 問13 地域活動への参加状況 | |
| | 問14 三田市のまちづくりへの関心度 | |
| | 問15 三田市のまちづくりで関心のある分野 | |
| | 問16 三田市のまちづくりに関心がない理由 | |
| | 問17 よりよい三田のまちのための取り組み状況 | |
| | 問18 よりよい三田のまちのためにしている事例 | |
| | 問19 今後の三田市での居住意向 | |
| | 問20 転出・転居したい理由 | |
| | 問21 人権問題の解決に向けての自分の努力 | |
| | 問22 三田市役所に対する信頼の程度 | |
| | 問23 三田市役所を信頼できない理由 | |
| | ◆「SDGs」に対する興味や、まちづくりの各分野の満足度・重要度を把握します。 | 問24 「SDGs（持続可能な開発目標）」の17のゴールの中で興味のあるジャンル |
| | | 問25 まちづくりの各分野の満足度と重要度 |

| まとめ（概要） | |
|---------|--|
| 問7 | 日常生活での健康づくりの取り組み状況について、「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は、62.6%となっています。一方、「あまり取り組んでいない」と「何も取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、36.9%となっています。 |
| 問8 | 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況について、「している」が46.3%、「していない」が53.5%となっています。 |
| 問9 | 「かかりつけ医」の有無について、「いる」が63.2%、「いない」が36.2%となっています。 |
| 問10 | 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況について、「読んでいる」が54.2%、「読んでいない」が44.7%となっています。 |
| 問11 | 隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思うかについて、「思う」が63.9%、「思わない」が35.3%となっています。 |
| 問12 | 隣近所との付き合いの程度について、「会えば挨拶をする程度」が51.8%と最も高くなっています。次いで、「世間話や立ち話をする程度」（28.9%）、「困った時に助け合っている」（14.6%）、「全く付き合いをしていない」（4.2%）の順となっています。 |
| 問13 | 地域活動への参加状況について、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が46.3%と最も高くなっています。次いで、「現在参加している」（29.6%）、「現在参加していないが、今後参加したい」（23.6%）の順となっています。 |
| 問14 | 三田市のまちづくりへの関心度について、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は、79.8%となっています。一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』は、18.6%となっています。 |
| 問15 | 三田市のまちづくりで関心のある分野について、「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が61.3%と最も高く、次いで、「交通ネットワークについて」（39.8%）、「交通安全・災害時等の対応について」（36.6%）の順となっています。 |
| 問16 | 三田市のまちづくりに関心がない理由について、「日々の生活に精一杯で、余裕がない」、「期待をしていない」、「三田市に魅力を感じない」、「三田市に馴染みがないため」などの意見が挙げられています。 |
| 問17 | よりよい三田のまちのための取り組み状況について、「行っている」が20.4%、「行っていない」が76.9%となっています。 |
| 問18 | よりよい三田のまちのために行っている事例について、「地域の行事、イベントに参加している」、「まちの清掃やごみ拾い・分別を行っている」、「区・自治会、まちづくり協議会など地域の活動に関わっている」などが挙げられています。 |
| 問19 | 今後の三田市での居留意向について、「今後も住み続けたい」が60.9%と最も高くなっています。次いで、「今のところ、わからない」（26.8%）、「市外に移りたい」（6.4%）、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」（3.6%）の順となっています。 |
| 問20 | 転出・転居したい理由について、「医療機関や福祉施設が充実していない」が44.5%と最も高くなっています。次いで、「買い物などの日常生活が不便」（39.7%）、「通勤・通学に時間がかかる」（33.6%）の順となっています。 |

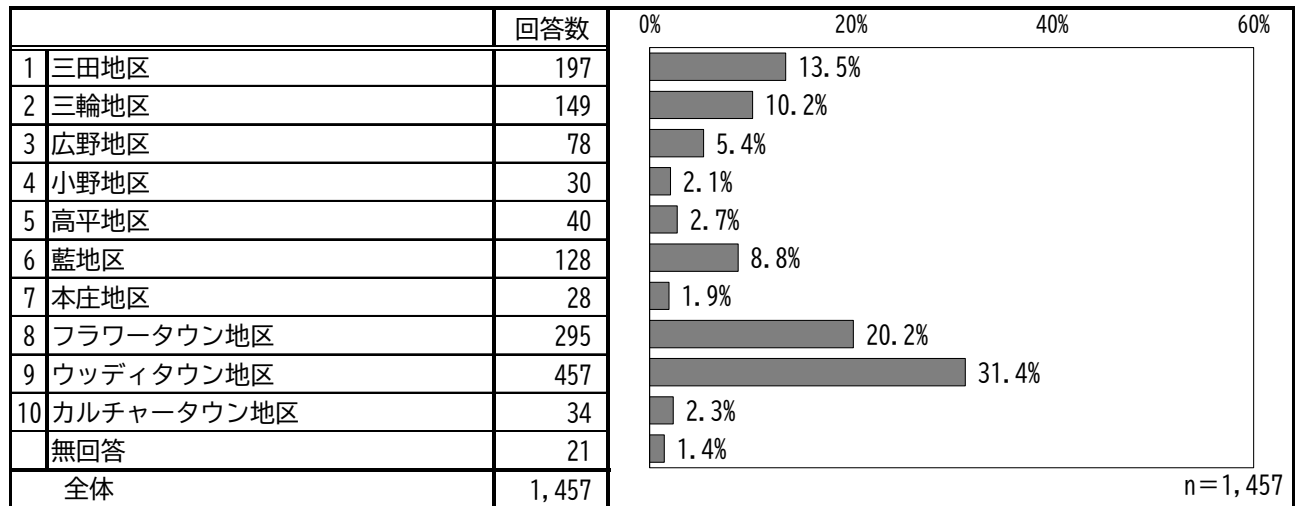
| | |
|--|---|
| 問 21 | 人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思うかについて、「そう思う」が 83.4%、「そう思わない」が 13.4%となっています。 |
| 問 22 | 三田市役所に対する信頼の程度について、「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』は 80.2%となっています。一方、「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた『信頼できない』は 17.5%となっています。 |
| 問 23 | 三田市役所を信頼できない理由について、「政策等に不満や不信がある」、「職員の対応が不適切である」、「税金の使い方に納得できない」などの意見が挙げられています。 |
| 問 24 | 「SDGs」の 17 のゴールの中で興味のあるジャンルについて、「11. 住み続けられるまちづくりを」が 60.7%と最も高くなっています。次いで、「3. すべての人に健康と福祉を」(54.2%)、「16. 平和と公正をすべての人に」(33.7%) の順となっています。一方、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」が 6.5%と最も低くなっています。 |
| 問 25 | 三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する満足度について、『「さと」の恵みを守り、活かすまち』が 3.21 ポイントと最も高くなっています。また、重要度については、『支えあい、安全安心に暮らせるまち』が 4.36 ポイントと最も高くなっています。満足度・重要度それぞれの平均より満足度が低く、重要度が高い分野は、『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』、『支えあい、安全安心に暮らせるまち』、『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』となっています。 |
| <p>三田市のまちづくりへの関心度（問 14）について、『関心がある』は 79.8%となっており、まちづくりへの関心度が高いことがうかがえます。あわせて、三田市のまちづくりで関心がある分野（問 15）では、「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が 61.3%と突出しており、また、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する重要度（問 25）でも、『支えあい、安全安心に暮らせるまち』が 4.36 ポイントと最も高くなっていることから、市民の医療・健康・福祉への関心度が高く、安心して日々の生活を送る上で重要な分野であると考えている方が多いことがうかがえます。</p> <p>第 5 次三田市総合計画の成果指標に関する調査結果については、進捗状況を確認し、行政評価に活用します。その他にもデータの経年変化等を勘案し、より効率的な市政への展開が可能となるよう、分析や立案に活かしていきます。</p> | |

II 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 居住地区

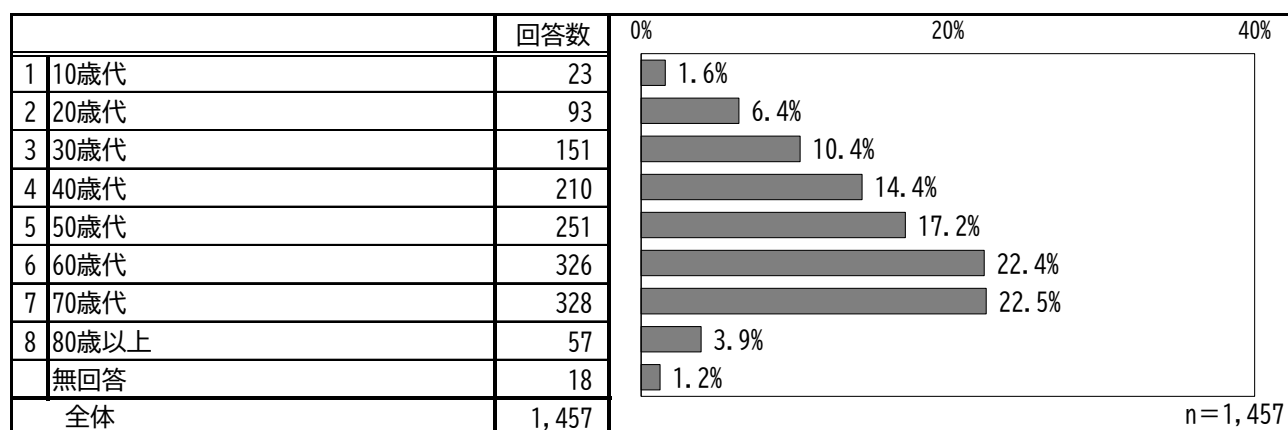
問1 あなたがお住まいの地区を選んでください。(○は1つ)



回答者の居住地区は、ウッディタウン地区が 31.4%と最も高くなっています。次いで、フラワータウン地区 (20.2%)、三田地区 (13.5%) の順となっています。

(2) 年齢

問2 令和6年7月1日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は1つ)

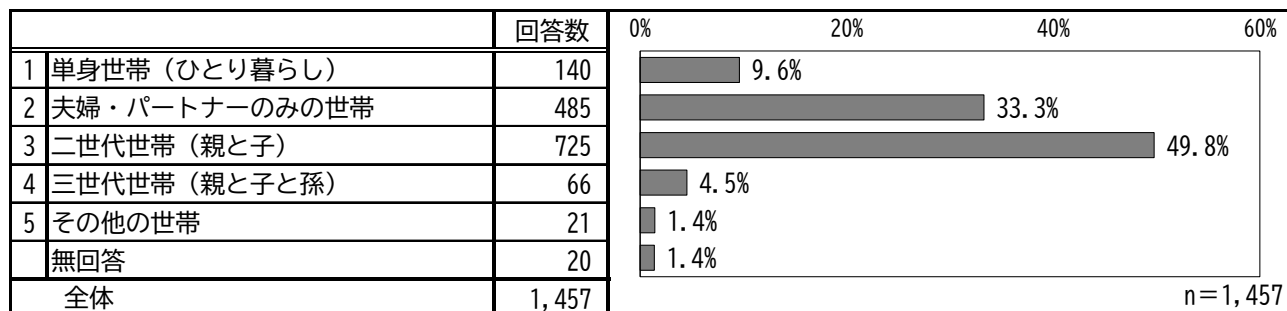


回答者の年齢は、70歳代が22.5%と最も高くなっています。次いで、60歳代(22.4%)、50歳代(17.2%)の順となっています。

II 調査結果

(3) 世帯構成

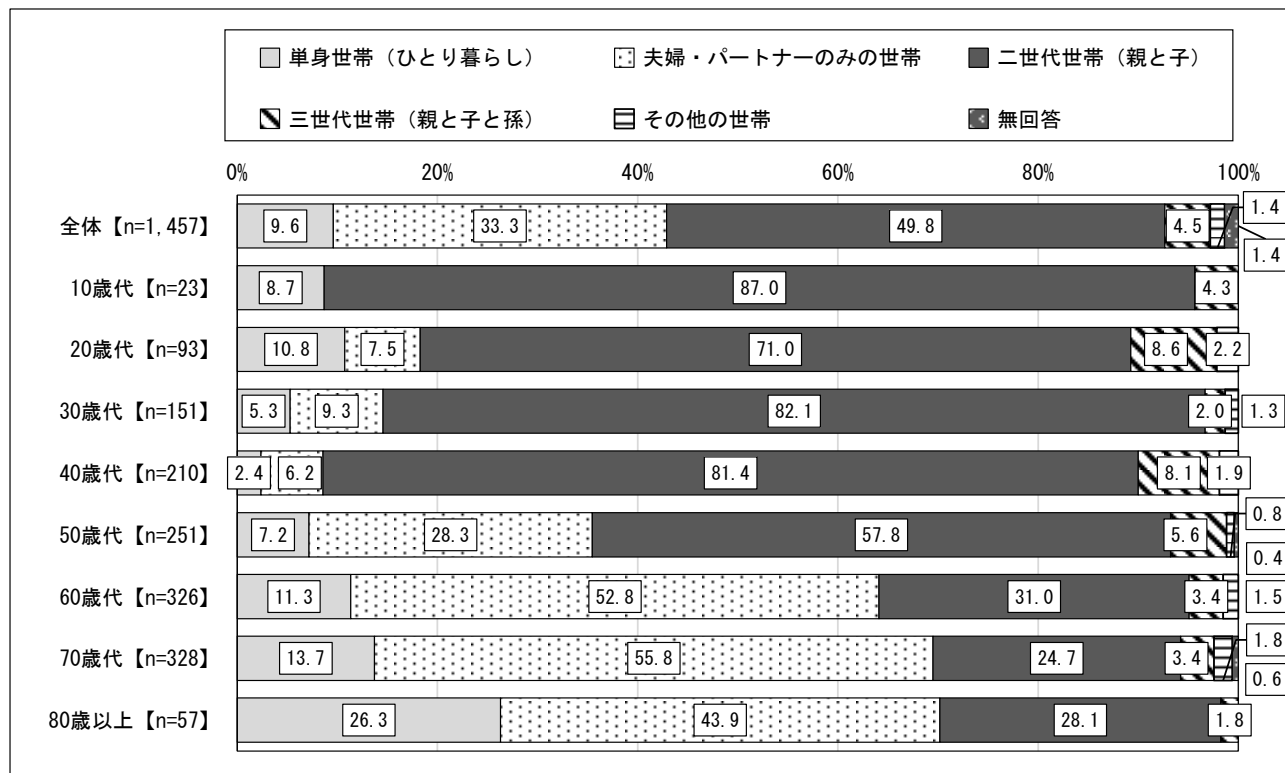
問3 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)



※「その他の世帯」の内容：四世代世帯、兄弟・姉妹 など

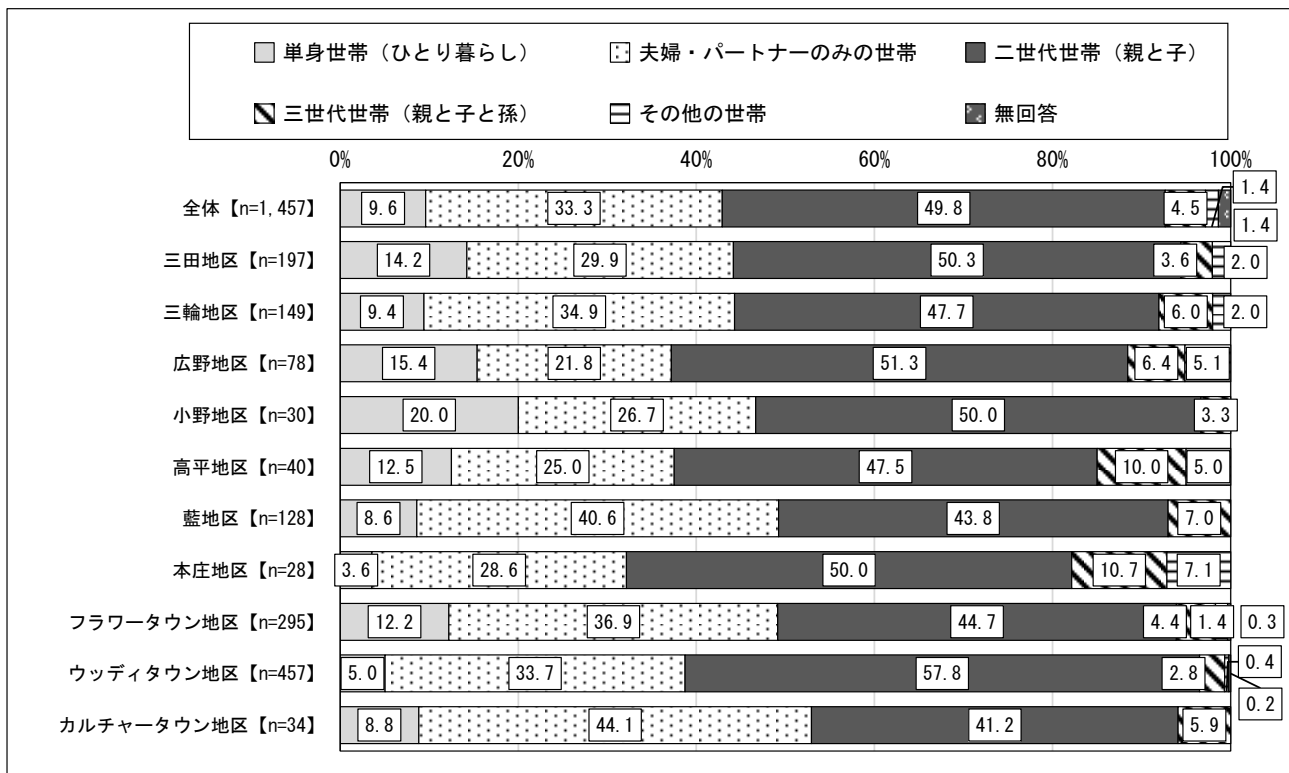
回答者の世帯構成は、「二世帯世帯 (親と子)」が49.8%と最も高くなっています。次いで、「夫婦・パートナーのみの世帯」(33.3%)、「単身世帯 (ひとり暮らし)」(9.6%)、「三世帯世帯 (親と子と孫)」(4.5%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、10～50歳代は「二世帯世帯 (親と子)」が半数を超えています。60歳代、70歳代及び80歳以上は「夫婦・パートナーのみの世帯」が最も高くなっており、60歳代及び70歳代では半数を超えています。次いで、「二世帯世帯 (親と子)」(各31.0%、24.7%、28.1%)、「単身世帯 (ひとり暮らし)」(各11.3%、13.7%、26.3%)の順になっています。

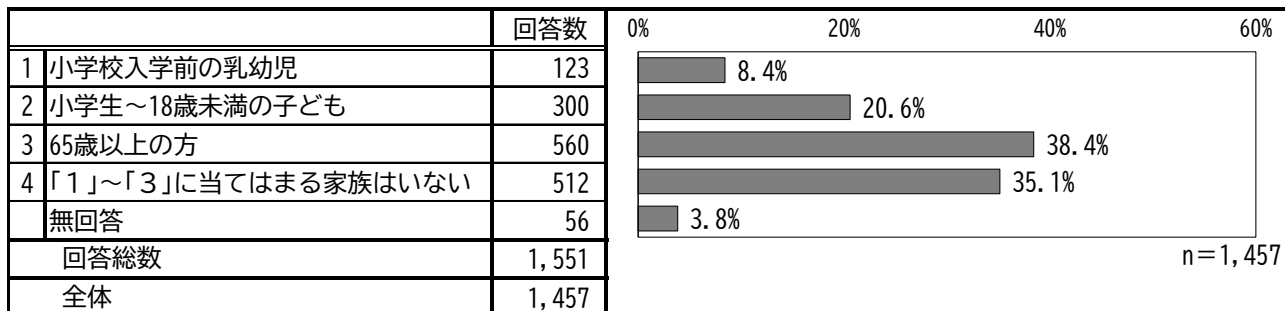
【地区別】



地区別にみると、「単身世帯 (ひとり暮らし)」は、小野地区が20.0%と最も高くなっています。次いで、広野地区 (15.4%)、三田地区 (14.2%) の順となっています。「夫婦・パートナーのみの世帯」は、カルチャータウン地区が44.1%と最も高くなっています。次いで、藍地区 (40.6%)、フラワータウン地区 (36.9%) の順となっています。「二世帯世帯 (親と子)」は、ウッディタウン地区が57.8%と最も高くなっています。次いで、広野地区 (51.3%)、三田地区 (50.3%) の順となっています。「三世帯世帯 (親と子と孫)」は、本庄地区が10.7%と最も高くなっています。次いで、高平地区 (10.0%)、藍地区 (7.0%) の順となっています。

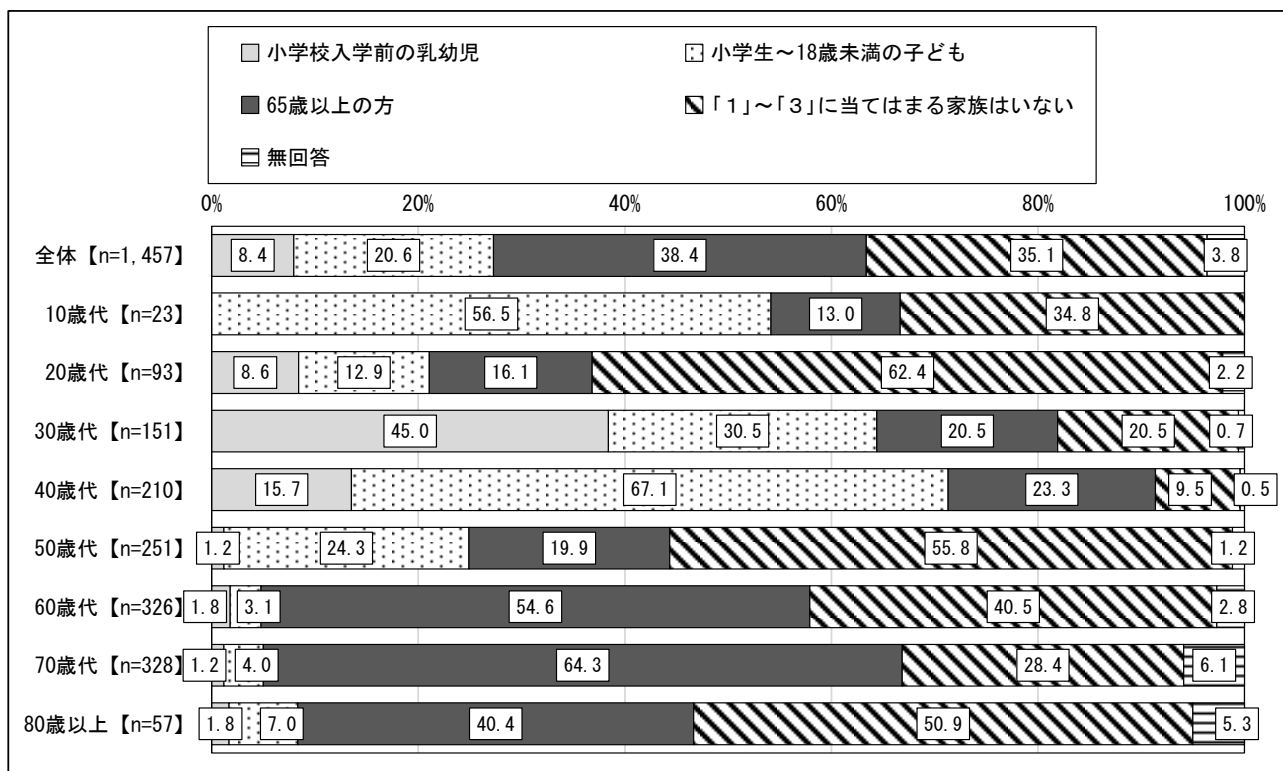
(4) 家族構成員

問4 あなたのご家族に次の方はおられますか。該当するものを選んでください。(○はいくつでも)



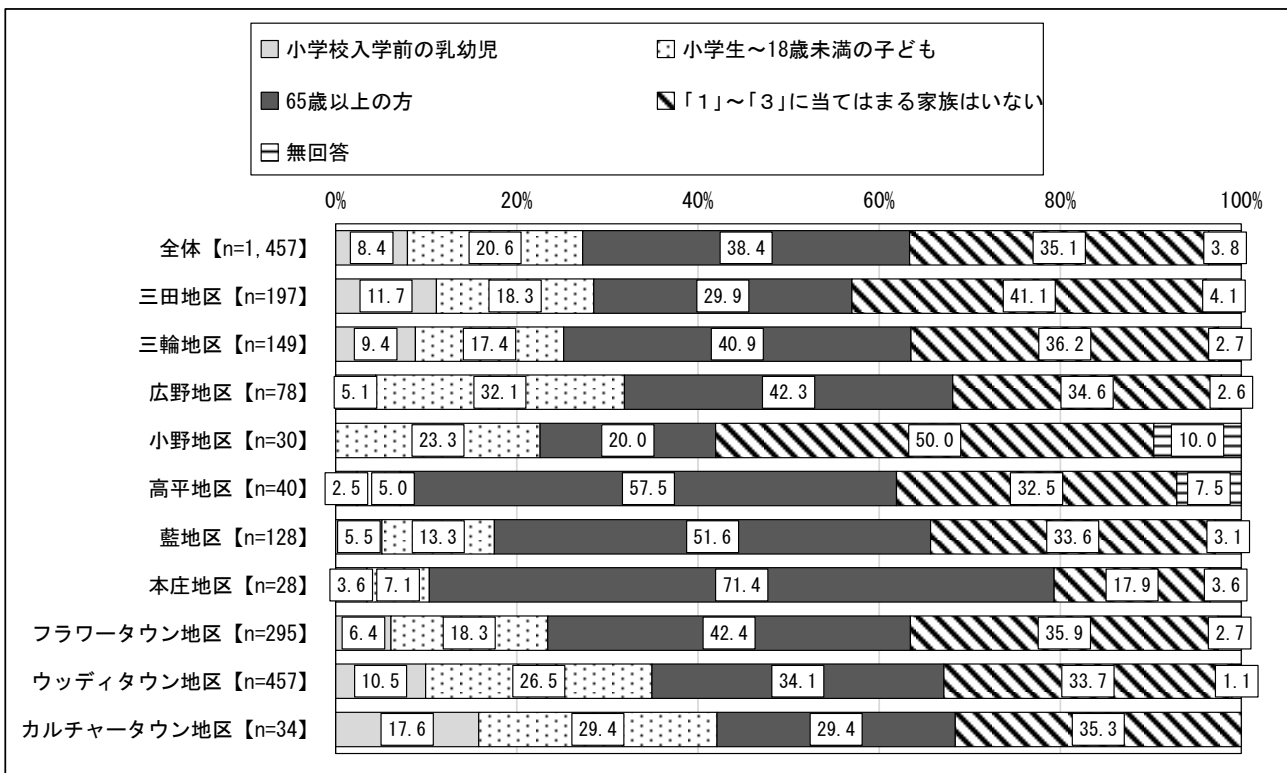
回答者の家族構成は、「65歳以上の方」が38.4%と最も高くなっています。次いで、『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』(35.1%)、「小学生～18歳未満の子ども」(20.6%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、10歳代及び40歳代では「小学生～18歳未満の子ども」が最も高くなっています。20歳代、50歳代及び80歳以上では『「1」～「3」に当てはまる家族はいない』、30歳代では「小学校入学前の乳幼児」、60歳代及び70歳代では「65歳以上の方」が最も高くなっており、年代ごとの特徴がうかがえます。

【地区別】

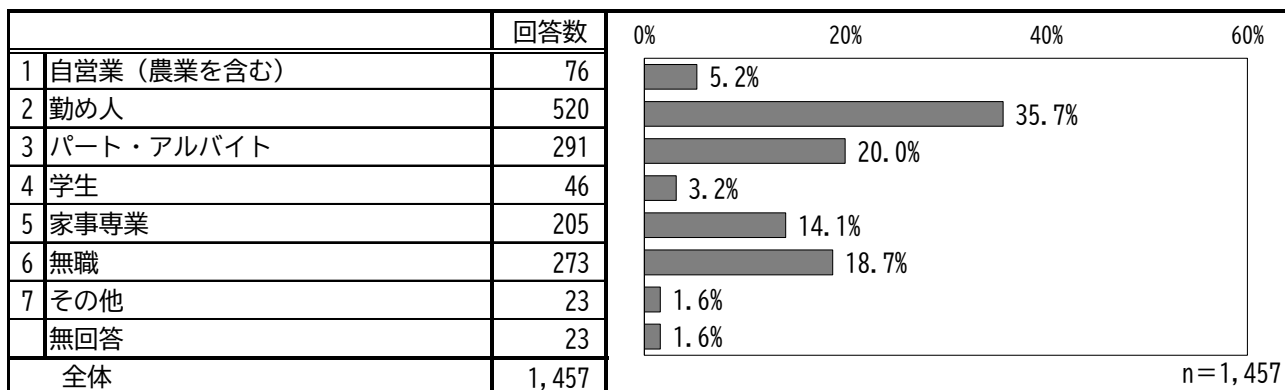


地区別にみると、「小学校入学前の乳幼児」は、カルチャータウン地区が17.6%と最も高くなっています。次いで、三田地区（11.7%）、ウッディタウン地区（10.5%）の順となっています。「小学生～18歳未満の子ども」は、広野地区が32.1%と最も高くなっています。次いで、カルチャータウン地区（29.4%）、ウッディタウン地区（26.5%）の順となっています。「65歳以上の方」は、本庄地区が71.4%と最も高くなっています。次いで、高平地区（57.5%）、藍地区（51.6%）の順となっています。

II 調査結果

(5) 職業

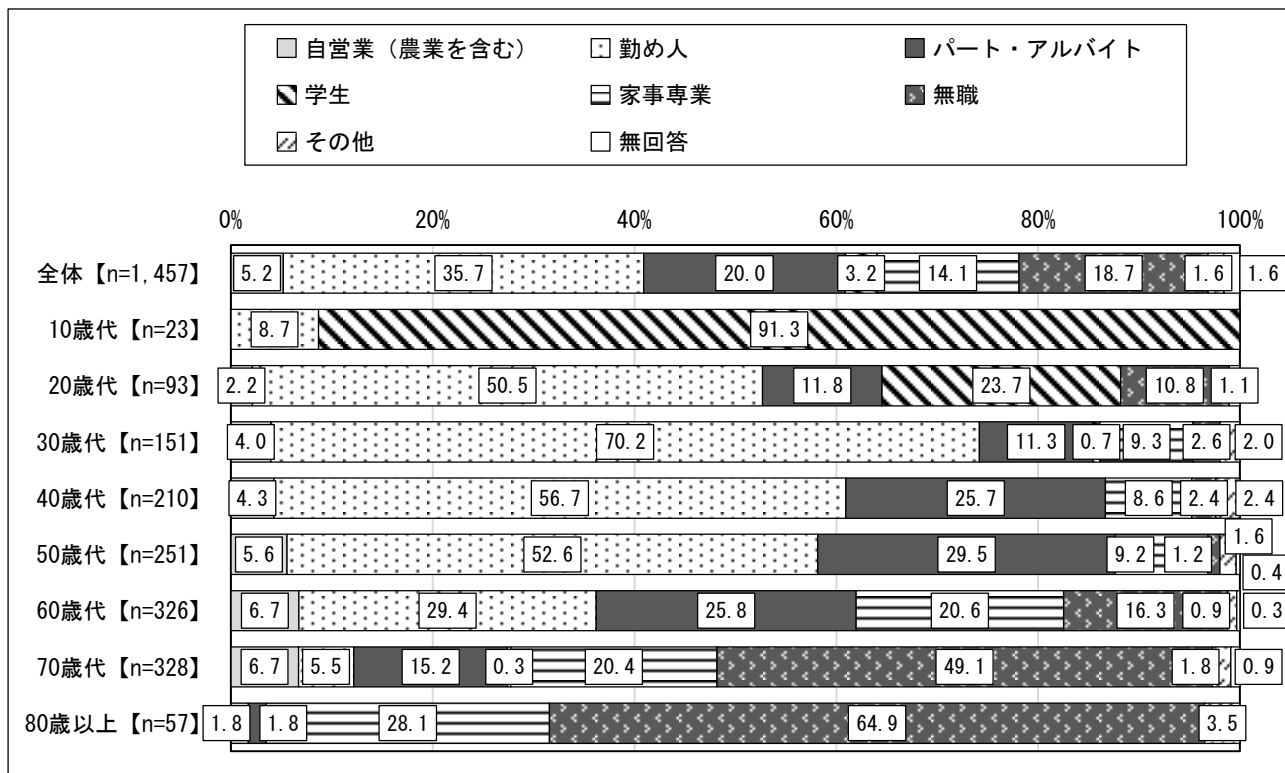
問5 あなたの職業を選んでください。(○は1つ)



※「その他」の内容：会社役員、団体役員 など

回答者の職業は、「勤め人」が35.7%と最も高くなっています。次いで、「パート・アルバイト」(20.0%)、「無職」(18.7%)の順となっています。

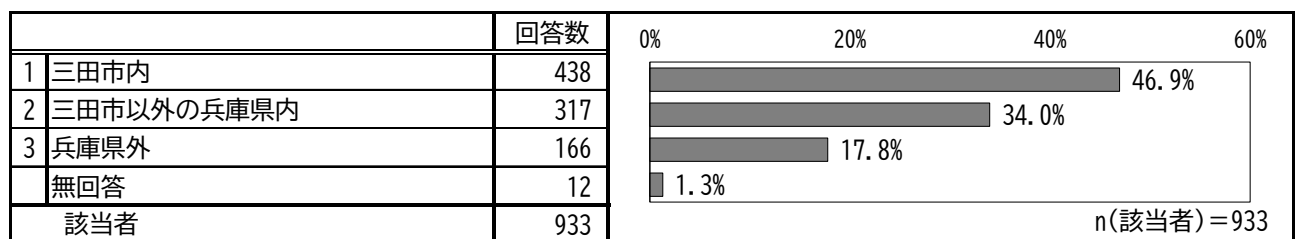
【年代別】



年代別にみると、10歳代は「学生」が91.3%と最も高くなっています。20～50歳代は「勤め人」が半数を超えています。70歳代及び80歳以上は「無職」（各49.1%、64.9%）が最も高くなっています。

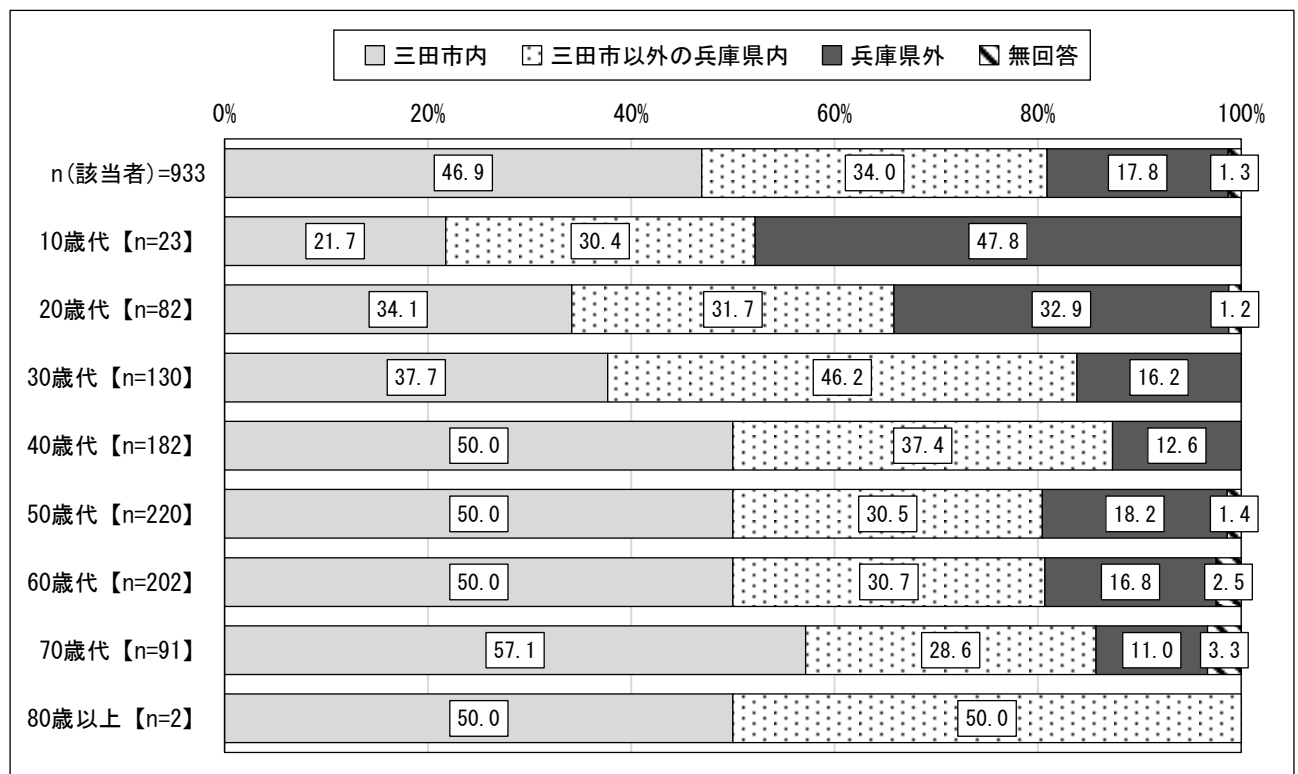
(6) 通勤、通学先

問6 問5で「1 自営業（農業を含む）」、「2 勤め人」、「3 パート・アルバイト」、「4 学生」を選択した方にお聞きします。通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。（○は1つ）



職業で「自営業（農業を含む）」、「勤め人」、「パート・アルバイト」、「学生」を選択した 933 人を対象に、通勤・通学先について尋ねたところ、「三田市内」が 46.9%と最も高くなっています。次いで、「三田市以外の兵庫県内」(34.0%)、「兵庫県外」(17.8%) の順となっています。

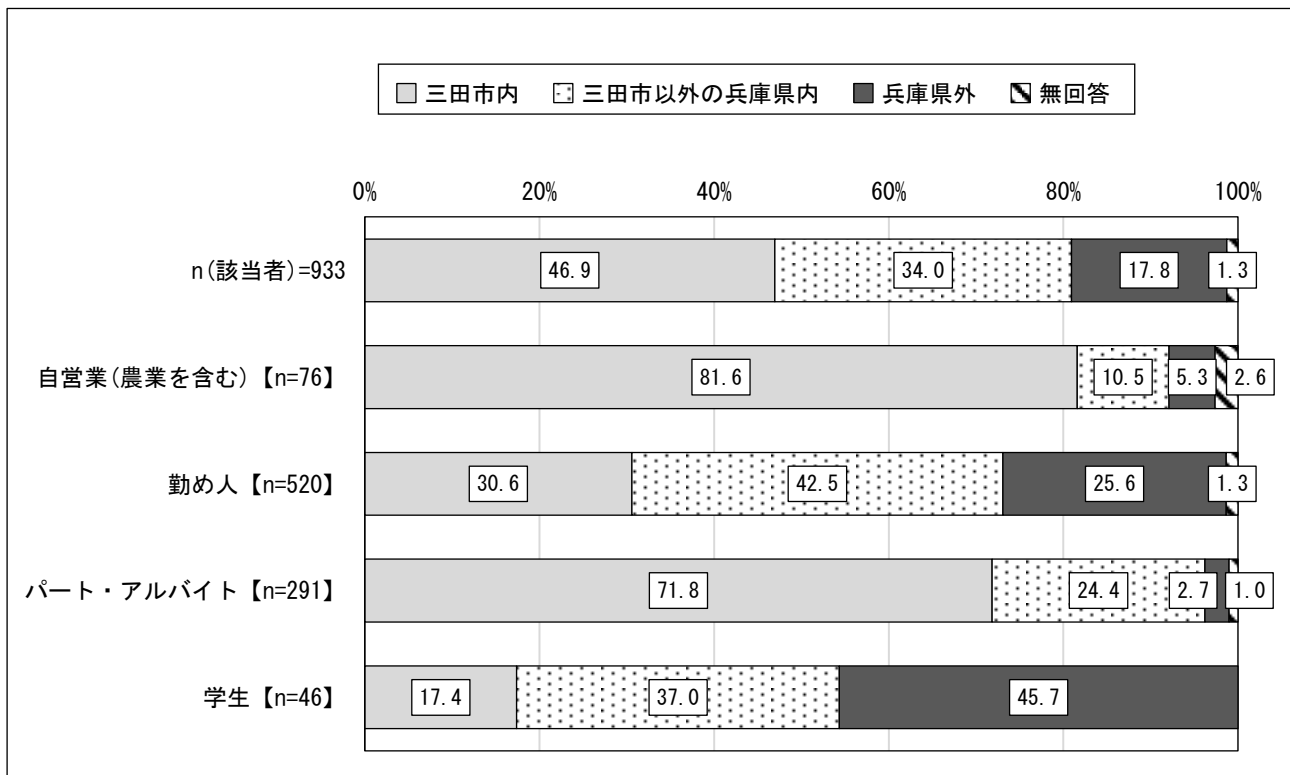
【年代別】



年代別にみると、10～30歳代は「三田市以外の兵庫県内」と「兵庫県外」を合わせた『三田市外』が半数を超えています。

一方、「三田市内」は40～60歳代及び80歳以上が半数、70歳代では半数を超えており、40歳代以上は三田市内での通勤・通学の割合が高い状況となっています。

【職業別】

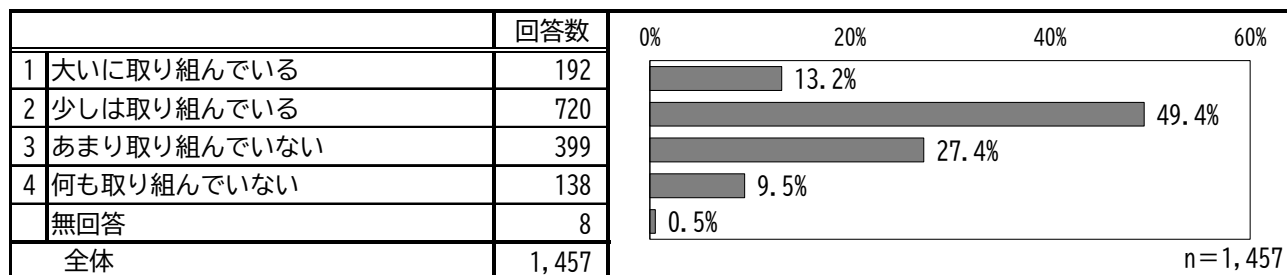


職業別にみると、自営業（農業を含む）及びパート・アルバイトは「三田市内」が 70.0%を超えています。勤め人は、「三田市以外の兵庫県内」が 42.5%と最も高くなっています。学生は、「三田市以外の兵庫県内」と「兵庫県外」を合わせた『三田市外』が 82.7%を超えており、職業による特徴がうかがえます。

2. まちづくりや市政全般について

(7) 日常生活での健康づくりの取り組み状況

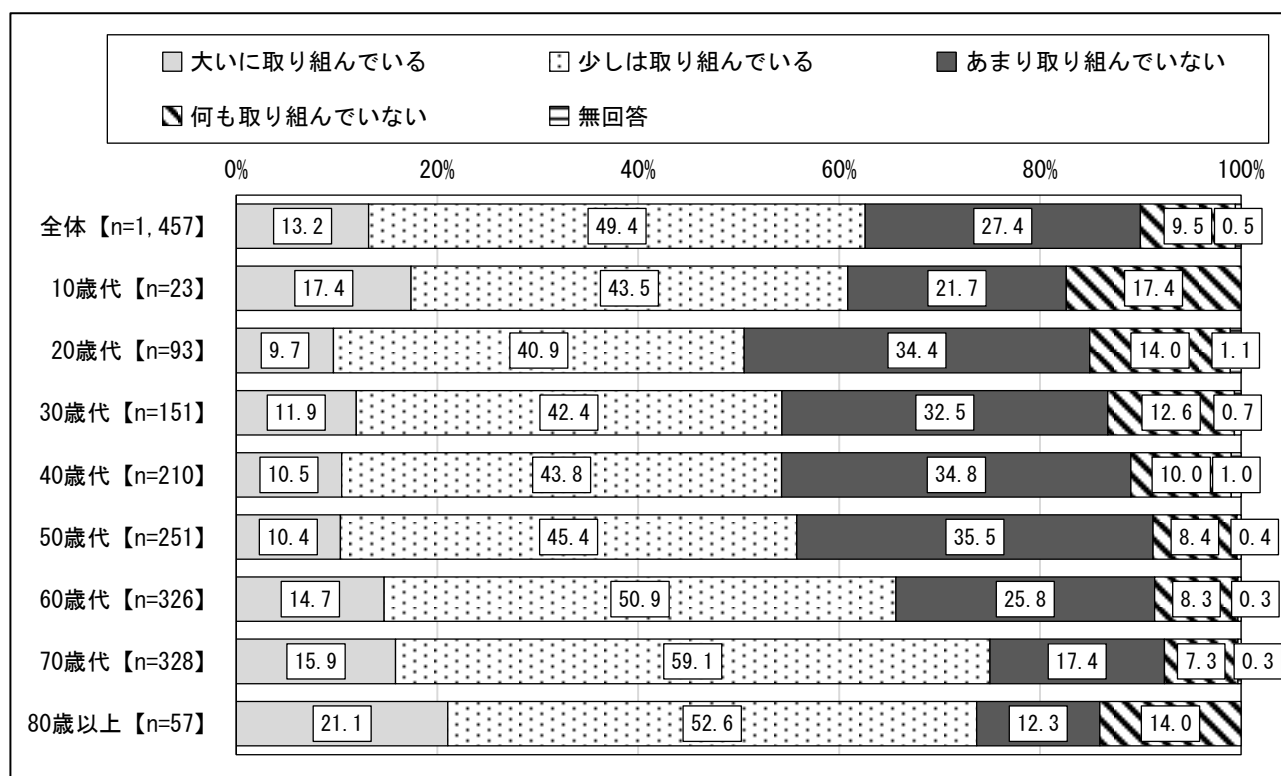
問7 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(〇は1つ)



日常生活での健康づくりの取り組み状況について、「少しは取り組んでいる」が49.4%と最も高くなっています。次いで、「あまり取り組んでいない」(27.4%)、「大いに取り組んでいる」(13.2%)、「何も取り組んでいない」(9.5%)の順となっています。

「大いに取り組んでいる」と「少しは取り組んでいる」を合わせた『取り組んでいる』は、62.6%となっています。一方、「あまり取り組んでいない」と「何も取り組んでいない」を合わせた『取り組んでいない』は、36.9%となっています。

【年代別】

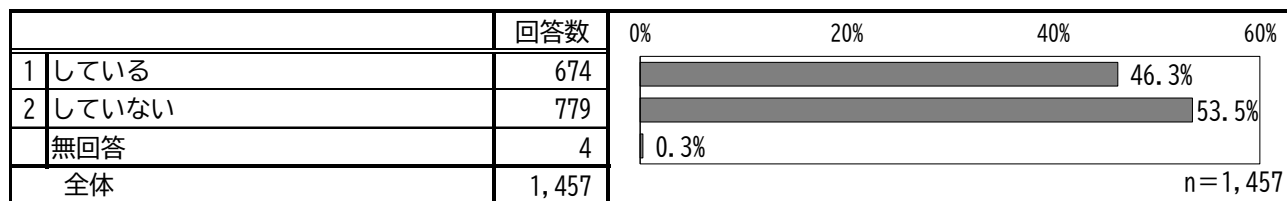


年代別にみると、全ての年代で「少しは取り組んでいる」が最も多くなっており、『取り組んでいる』は半数を超えています。特に60歳代以上は、他の年代よりも、健康づくりに取り組んでいる割合が高い状況です。

一方で『取り組んでいない』は、20歳代が48.4%と最も高くなっています。

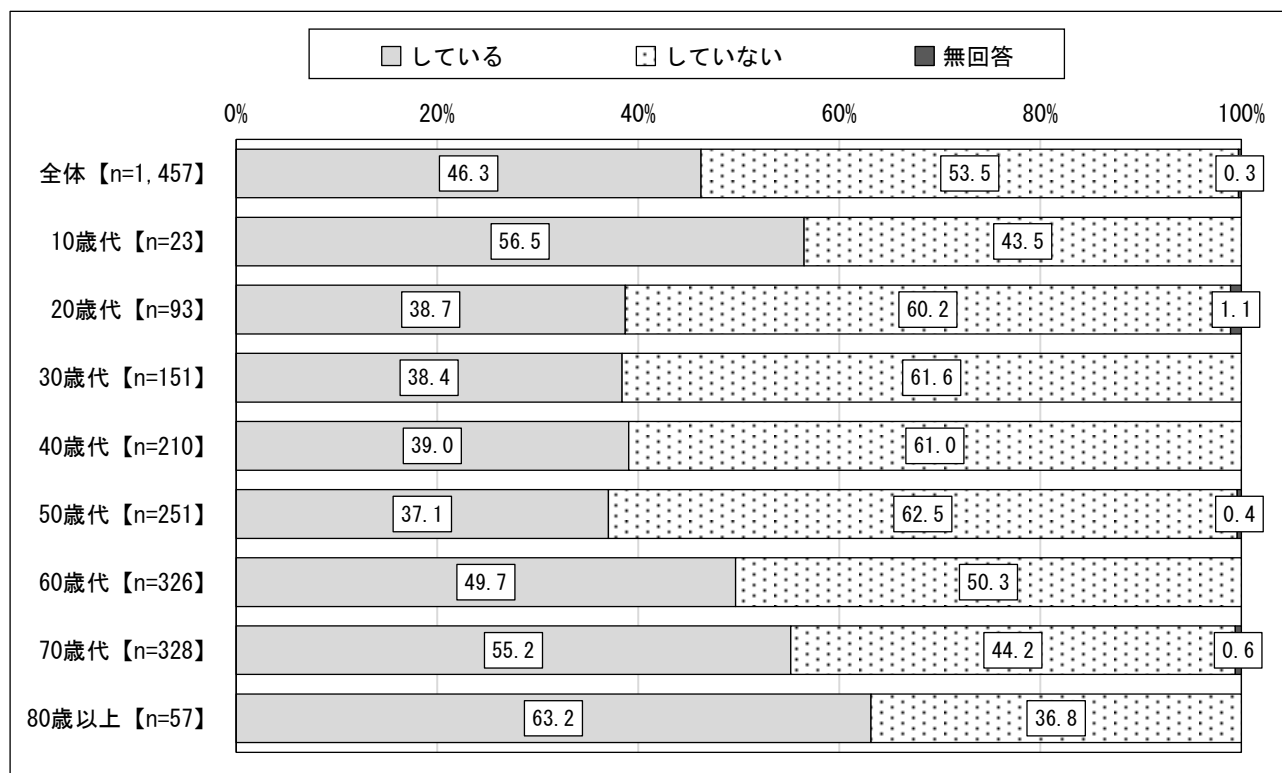
(8) 週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況

問8 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)



週一回以上の運動やスポーツの取り組み状況について、「している」が46.3%、「していない」が53.5%となっています。

【年代別】

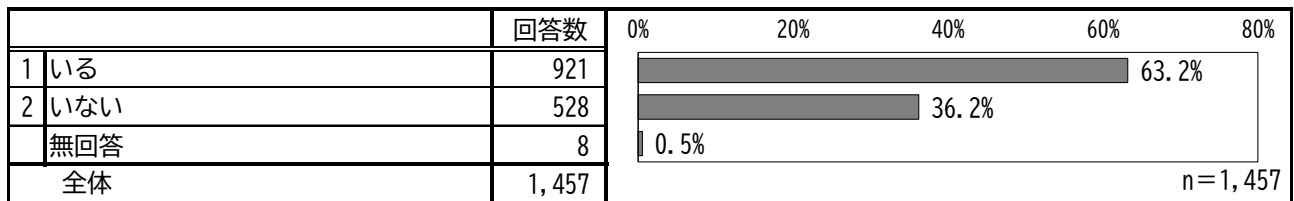


年代別にみると、「している」は10歳代、70歳代及び80歳以上が半数を超えており、80歳以上は63.2%と最も高くなっています。

一方、「していない」は、20～50歳代で60.0%を超えており、年代による違いがみられます。

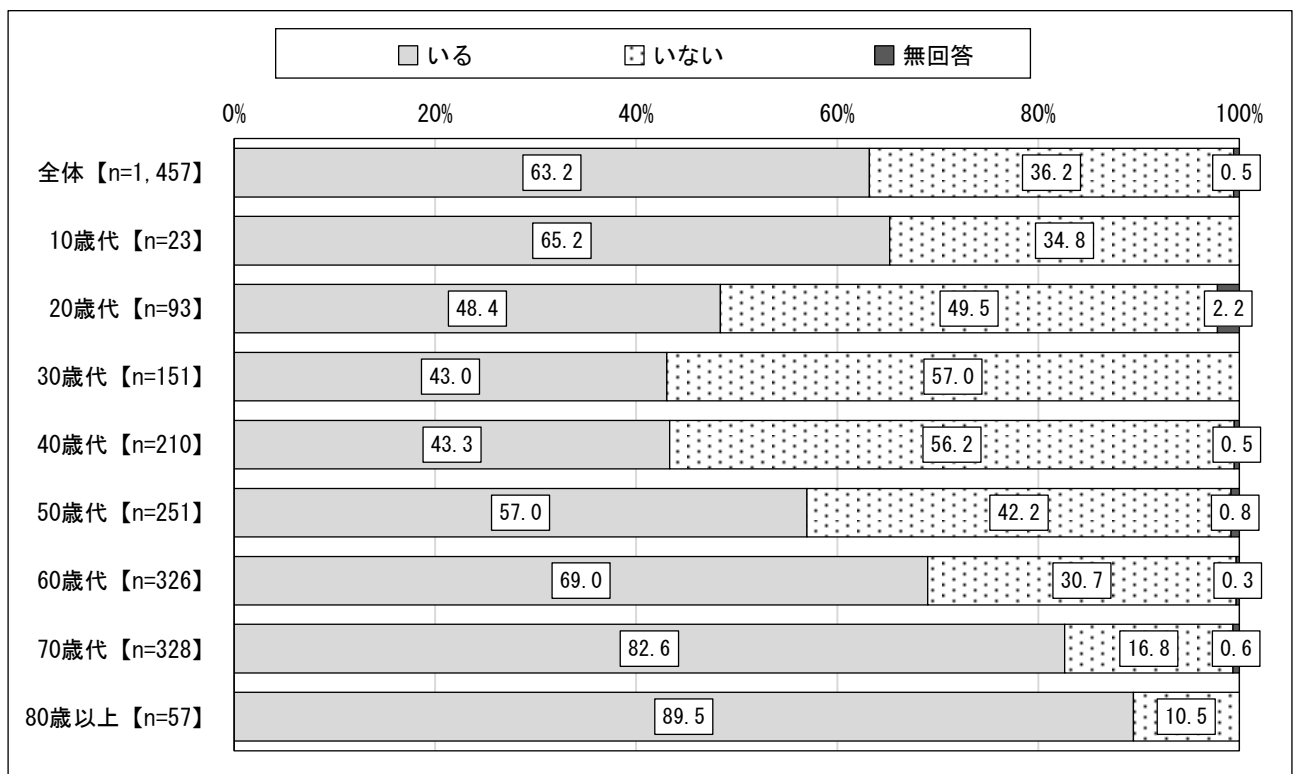
(9) 「かかりつけ医」の有無

問9 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)



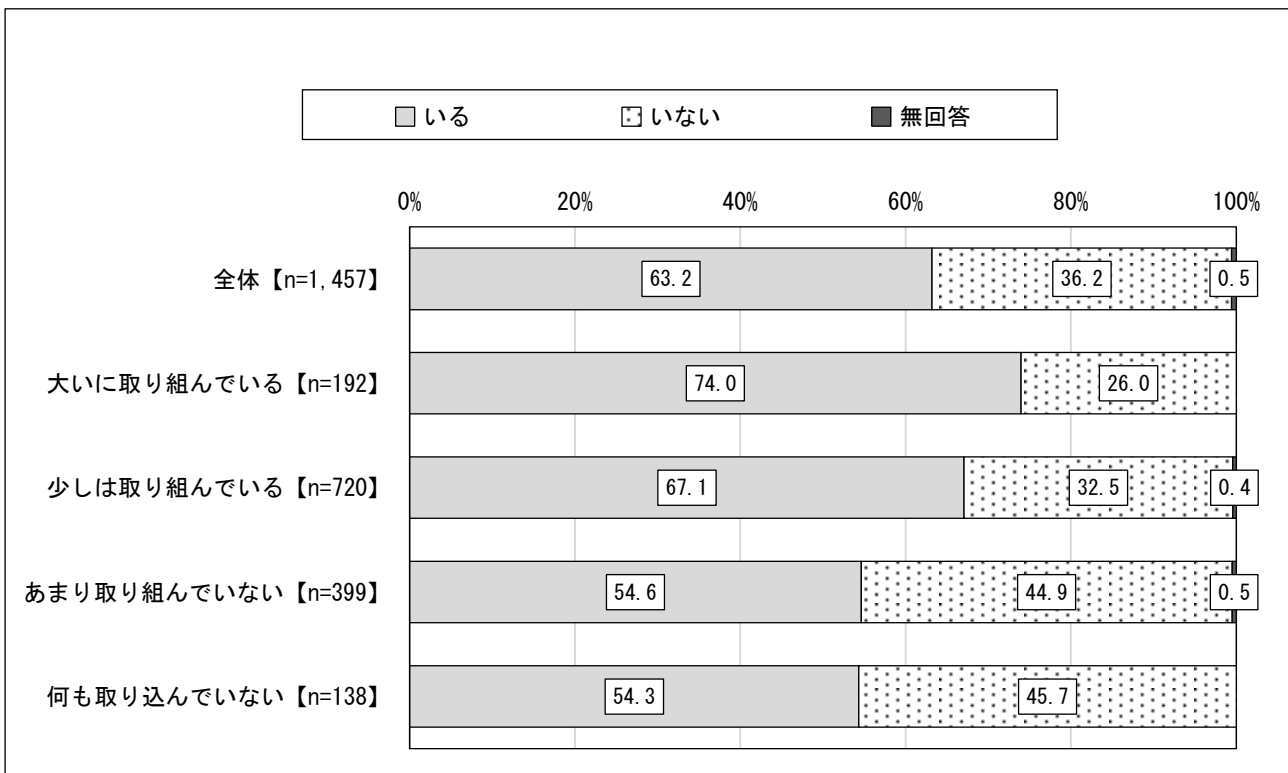
「かかりつけ医」の有無について、「いる」が63.2%、「いない」が36.2%となっています。

【年代別】



年代別にみると、「いる」は10歳代及び50～80歳以上で半数を超えており、特に70歳以上では80.0%を超えています。30歳代及び40歳代は、それぞれ約43%で最も低くなっています。

【健康づくりの取り組み状況別】

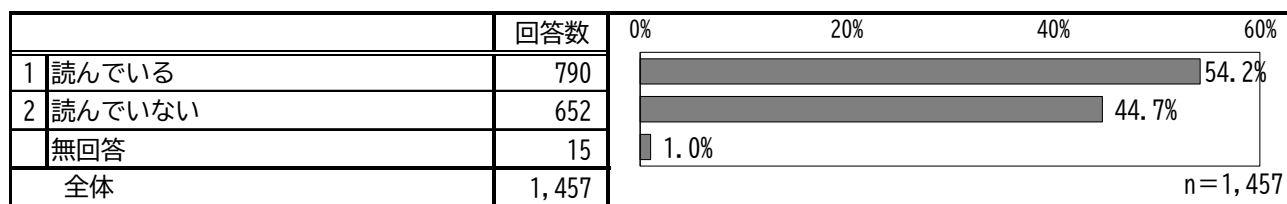


「かかりつけ医」の有無を、健康づくりの取り組み状況別にみると、「大いに取り組んでいる」では、74.0%が「いる」と回答しています。「何も取り組んでいない」では、54.3%であり、健康づくりに取り組んでいる人ほど、「かかりつけ医」がいる割合が高い状況となっています。

(10) 広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況

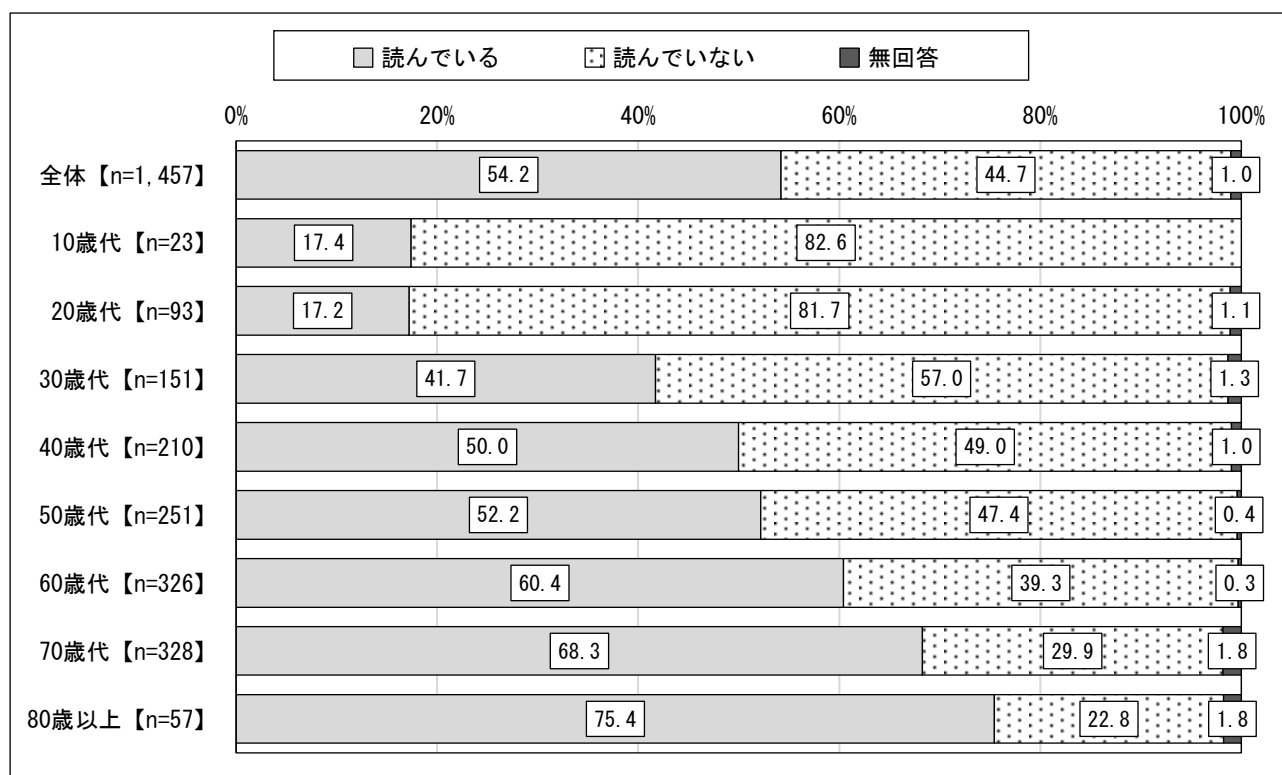
問10 あなたは、広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等を読んでいますか。

(○は1つ)



広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等の閲読状況について、「読んでいる」が54.2%、「読んでいない」が44.7%となっています。

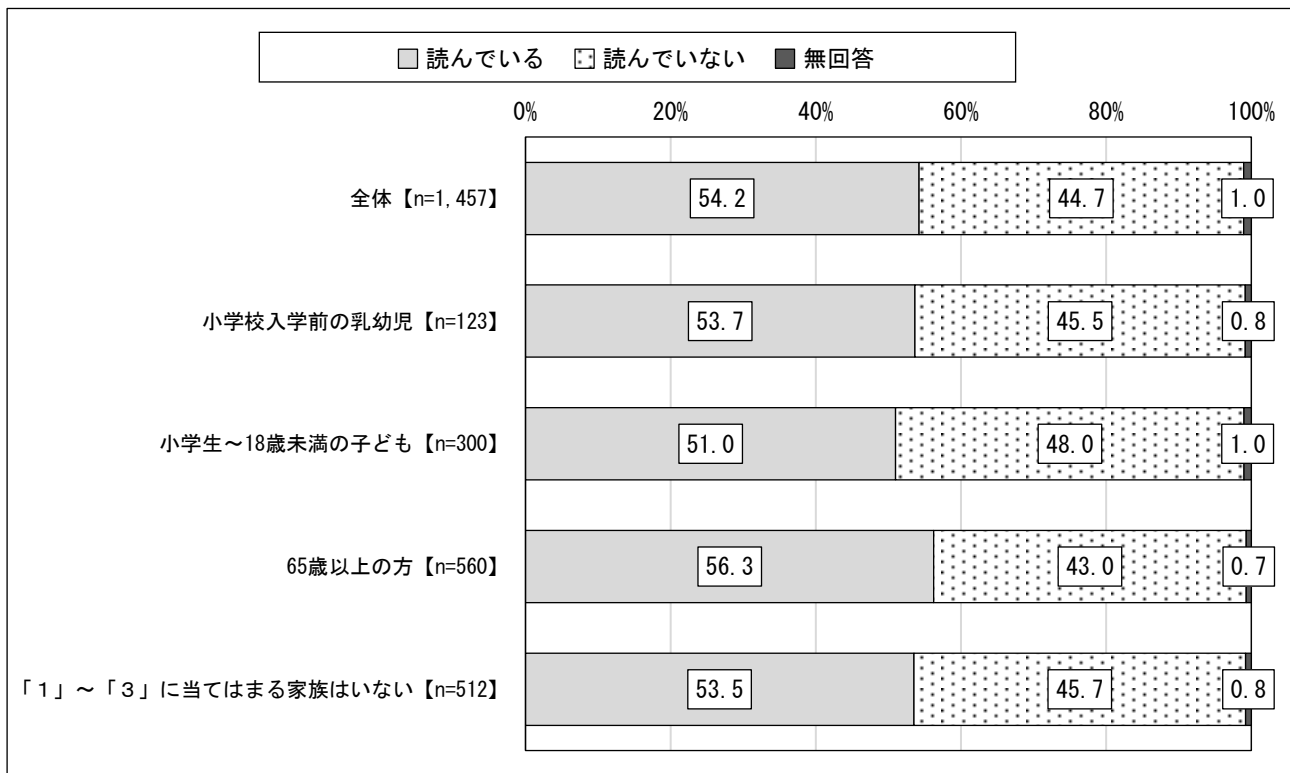
【年代別】



年代別にみると、50歳代以上から「読んでいる」が半数を超えています。特に80歳以上は75.4%と最も高く、年齢層が高くなるほど割合も高くなる状況となっています。10歳代及び20歳代は、ほぼ同数の約17%であり、他の年代に比べると低い割合にとどまっています。

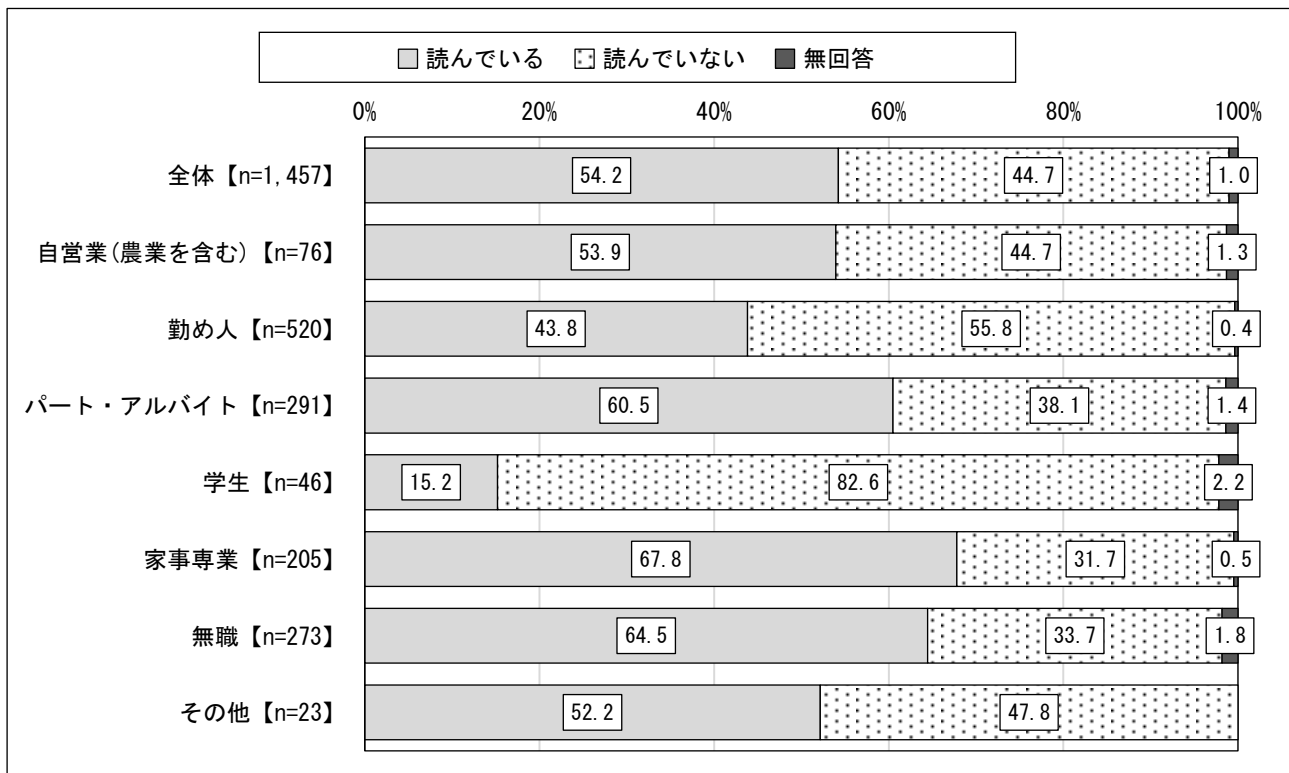
Ⅱ 調査結果

【家族構成員別】



家族構成員別にみると、家族構成員の状況に関わらず「読んでいる」が半数を超えており、「65歳以上の方」がいる人は56.3%と最も高くなっています。

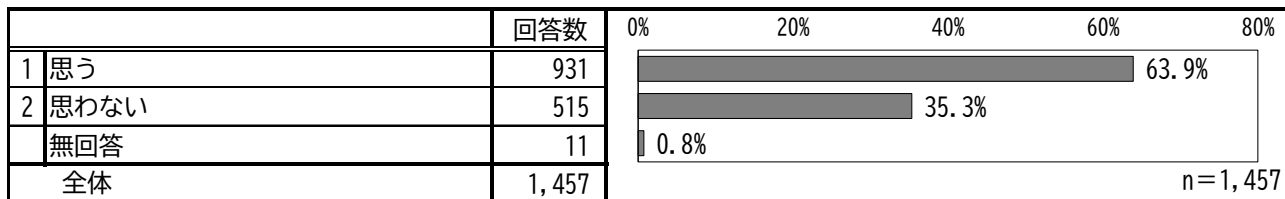
【職業別】



職業別にみると、勤め人及び学生を除いて「読んでいる」が半数を超えており、家事専業が67.8%と最も高くなっています。次いで、無職(64.5%)、パート・アルバイト(60.5%)、の順となっています。一方、「読んでいない」では、学生が82.6%と最も高くなっています。

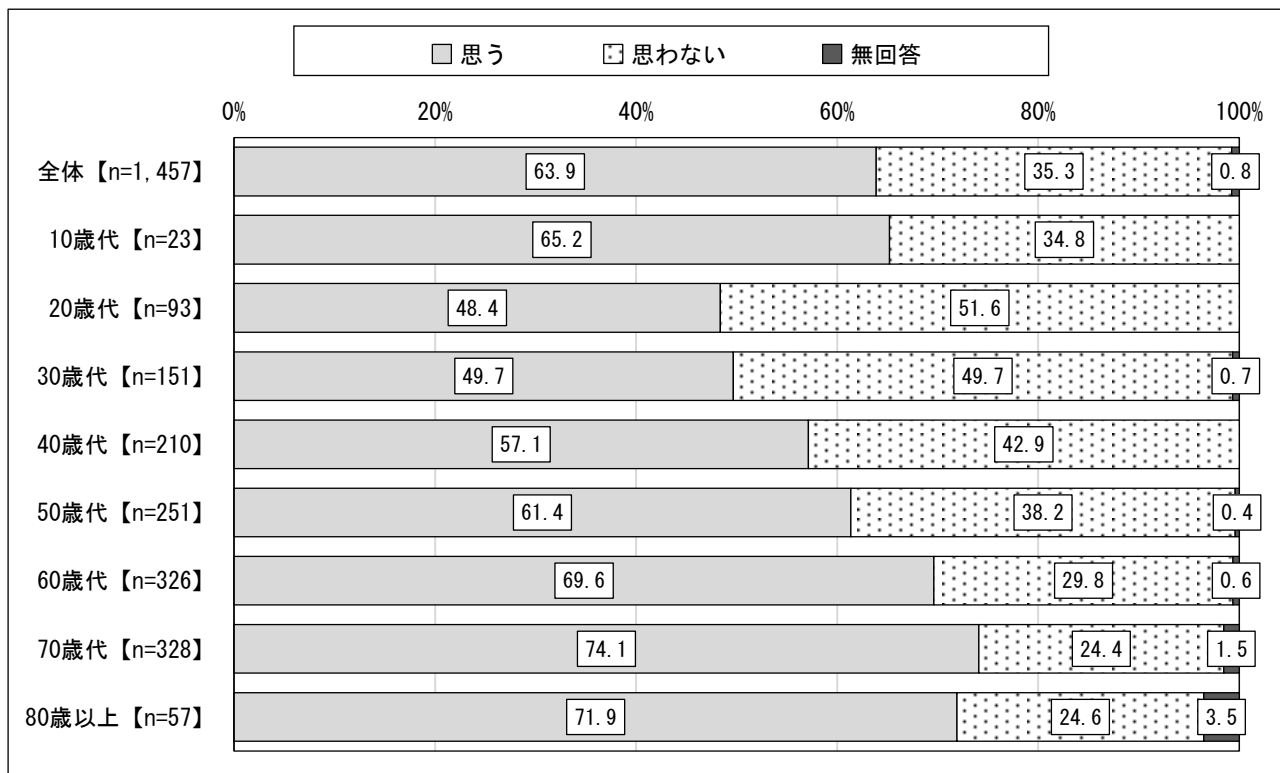
(11) 隣近所との困った時の助け合い

問 11 あなたは、隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思いますか。(○は1つ)



隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思うかについて、「思う」が63.9%、「思わない」が35.3%となっています。

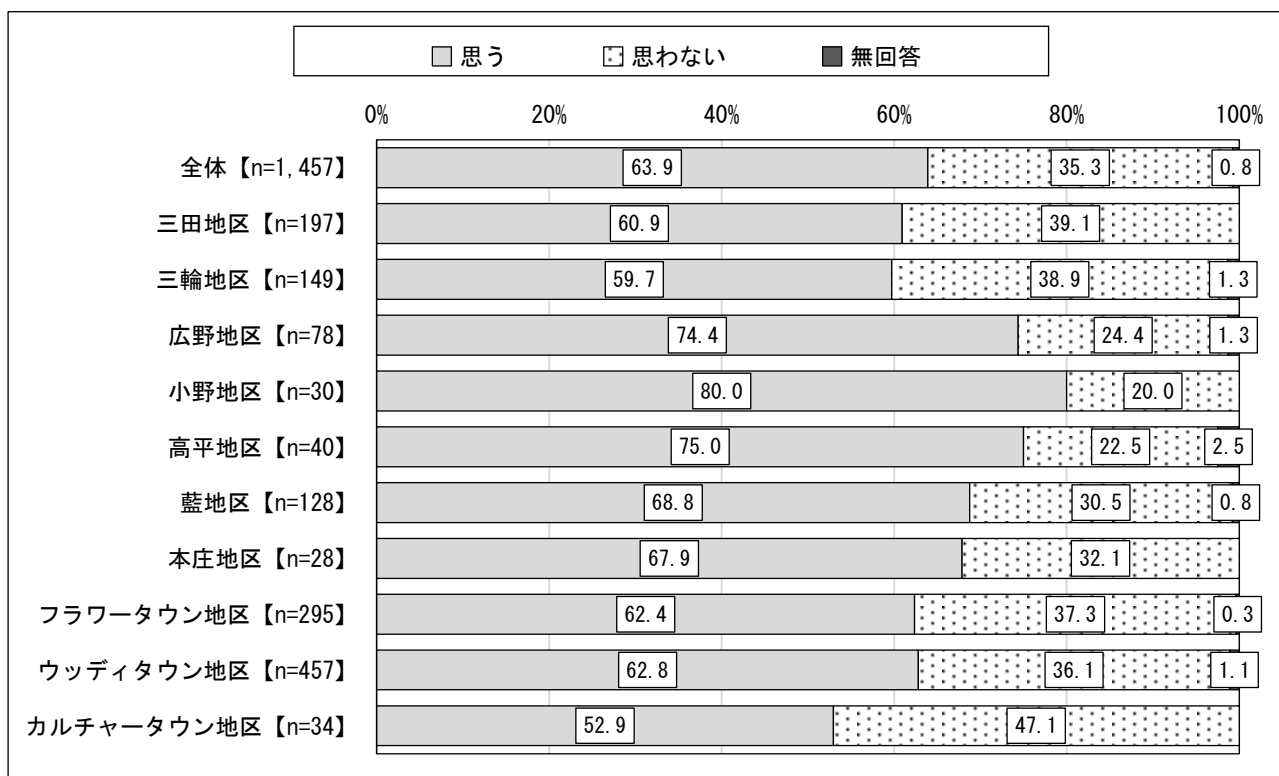
【年代別】



年代別にみると、10歳代及び40歳代以上で「思う」が半数を超えており、最も高い割合は、70歳代の74.1%となっています。次いで、80歳以上(71.9%)、60歳以上(69.6%)の順となっています。

一方、「思わない」は、20歳代が51.6%と半数を超え最も高くなっています。

【地区別】

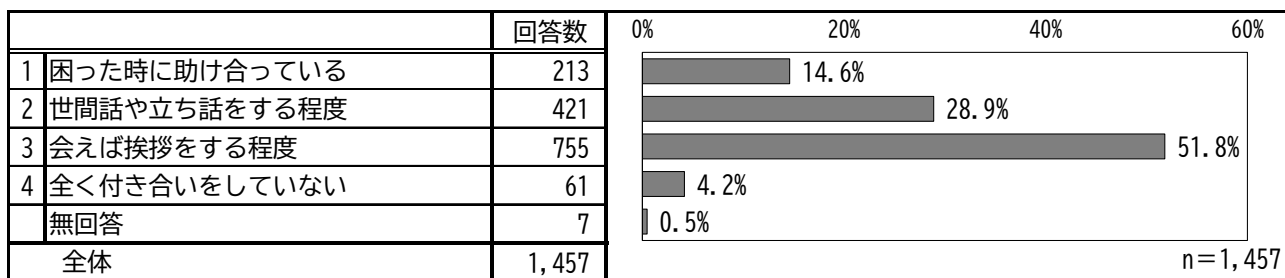


地区別にみると、「思う」は小野地区（80.0%）、高平地区（75.0%）、広野地区（74.4%）の順となっています。

一方、「思わない」はカルチャータウン地区（47.1%）、三田地区（39.1%）、三輪地区（38.9%）の順となっています。

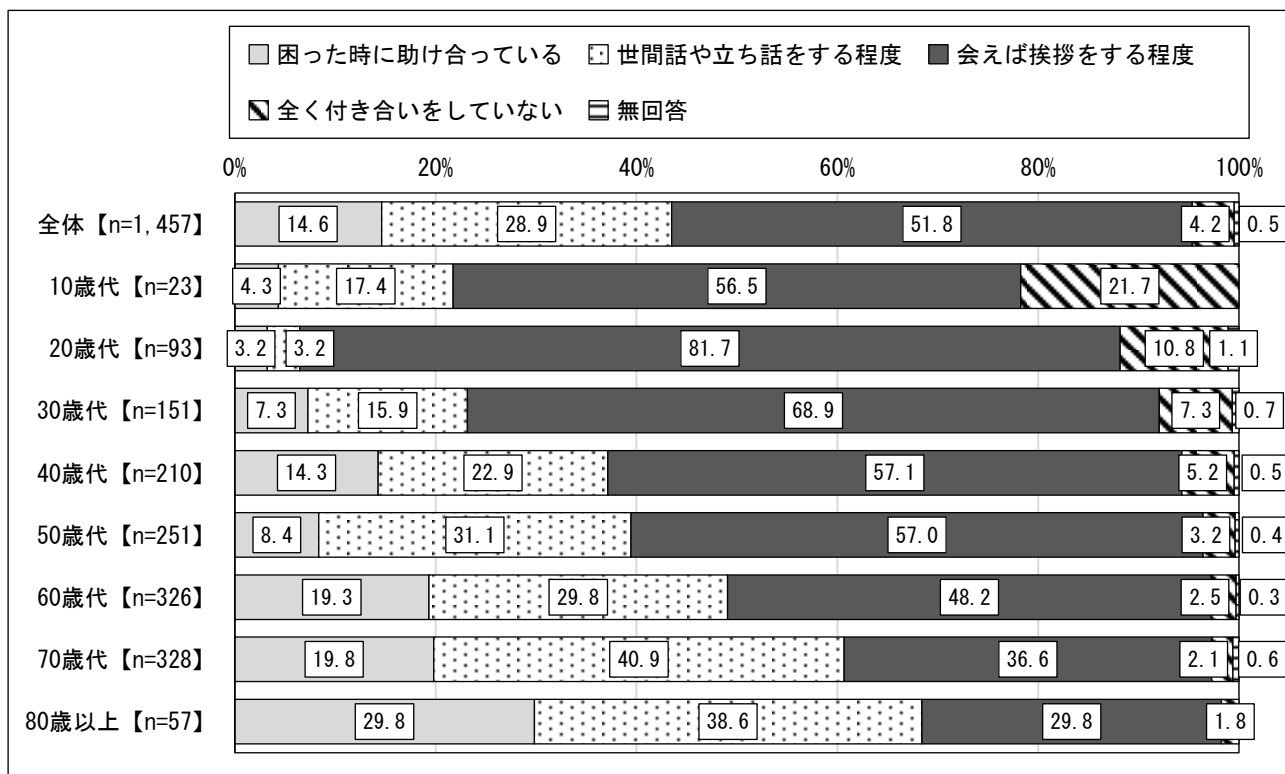
(12) 隣近所との付き合いの程度

問 12 あなたは、隣近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)



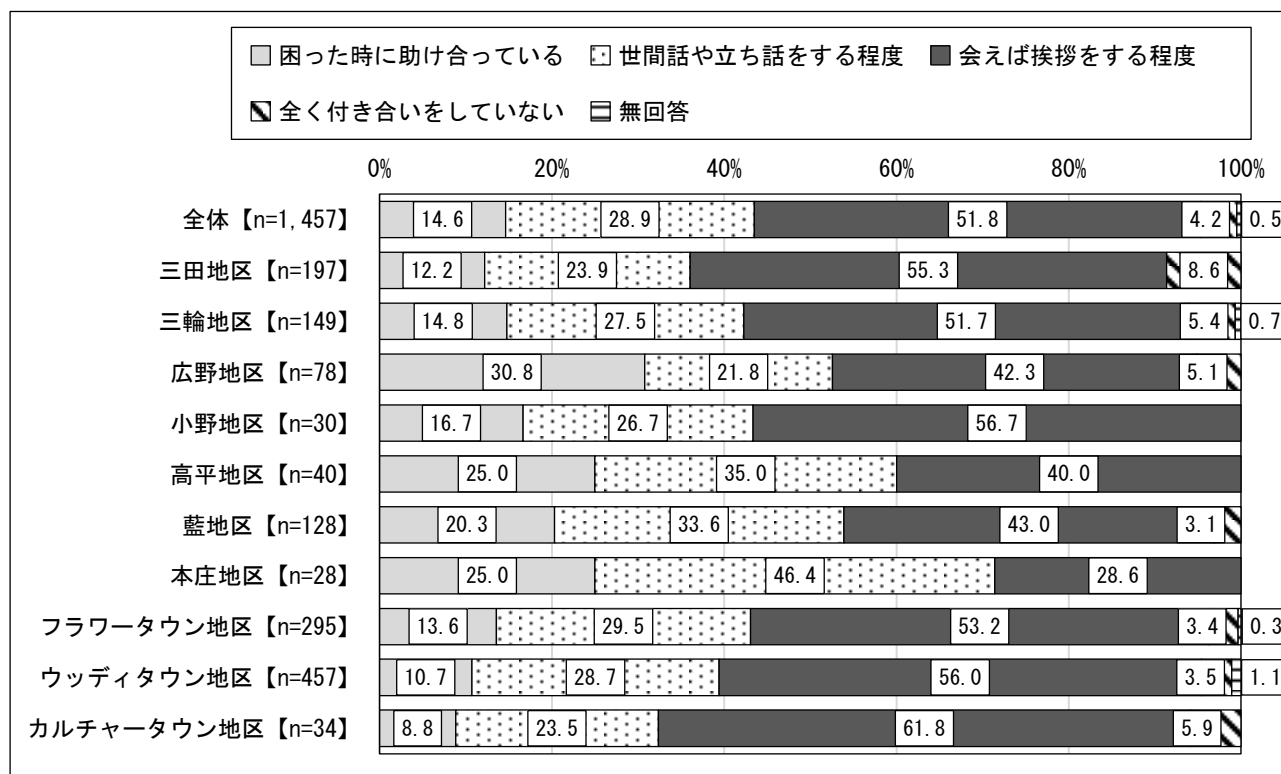
隣近所との付き合いの程度について、「会えば挨拶をする程度」が51.8%と最も高くなっています。次いで、「世間話や立ち話をする程度」(28.9%)、「困った時に助け合っている」(14.6%)、「全く付き合いをしていない」(4.2%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、「困った時に助け合っている」は、60歳代以上で年齢層が高くなるほど割合も高くなっている状況にあり、80歳以上では29.8%となっています。「世間話や立ち話をする程度」は、70歳代(40.9%)、80歳以上(38.6%)、50歳代(31.1%)の順となっています。「会えば挨拶をする程度」は、10~50歳代で半数を超えており、20歳代が81.7%と最も高くなっています。「全く付き合いをしていない」は、10歳代が21.7%と最も高くなっています。

【地区別】

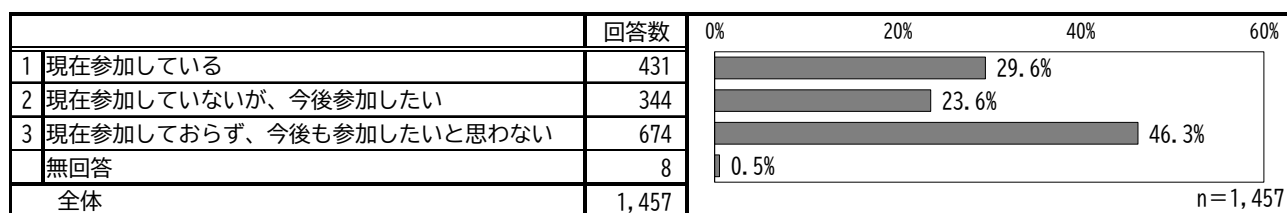


地区別にみると、「困った時に助け合っている」は、広野地区が(30.8%)、高平地区及び本庄地区(25.0%)、藍地区(20.3%)の順となっています。「世間話や立ち話をする程度」は、本庄地区(46.4%)、高平地区(35.0%)、藍地区(33.6%)の順となっています。「会えば挨拶をする程度」は、カルチャータウン地区(61.8%)、小野地区(56.7%)、ウッディタウン地区(56.0%)の順となっています。「全く付き合いをしていない」は、三田地区(8.6%)、カルチャータウン地区(5.9%)、三輪地区(5.4%)の順となっています。

(13) 地域活動への参加状況

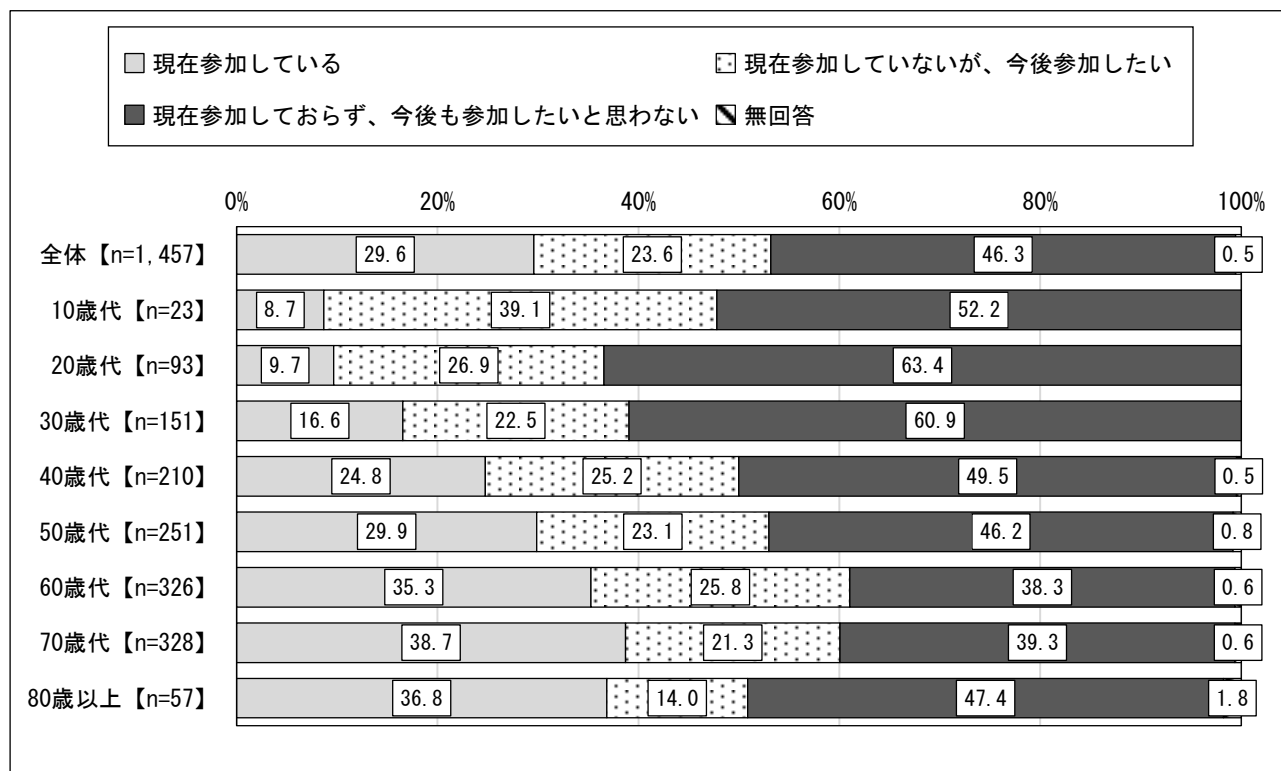
問 13 あなたは、地域活動（自治会の活動やボランティアの活動など）に参加していますか。

（○は1つ）



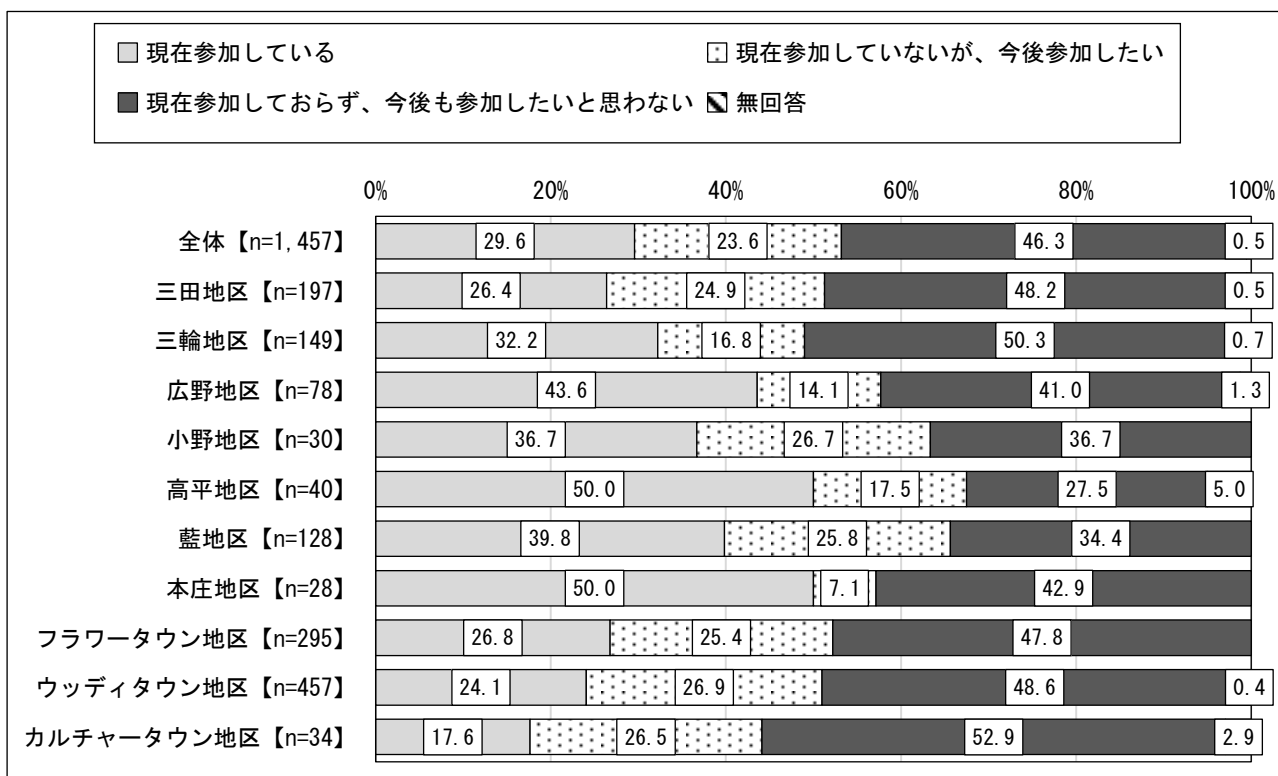
地域活動への参加状況について、「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」が46.3%と最も高くなっています。次いで、「現在参加している」(29.6%)、「現在参加していないが、今後参加したい」(23.6%)の順となっています。

【年代別】



年代別にみると、「現在参加している」は、70歳代が38.7%と最も高くなっています。次いで、80歳以上(36.8%)、60歳代(35.3%)の順となっています。「現在参加していないが、今後参加したい」は、10歳代が39.1%と最も高くなっています。次いで、20歳代(26.9%)、60歳代(25.8%)の順となっています。「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、20歳代が63.4%と最も高くなっています。次いで、30歳代(60.9%)、10歳代(52.2%)の順となっています。

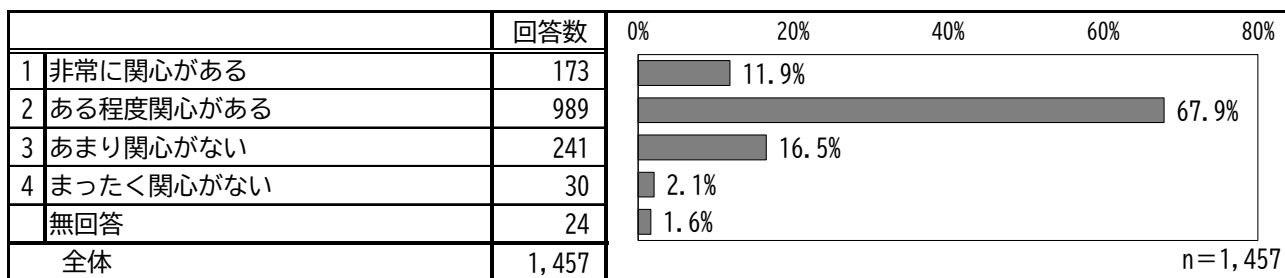
【地区別】



地区別にみると、「現在参加している」は、高平地区及び本庄地区で50.0%と最も高くなっています。次いで、広野地区(43.6%)、藍地区(39.8%)の順となっています。「現在参加していないが、今後参加したい」は、ウッディタウン地区(26.9%)、小野地区(26.7%)、カルチャータウン地区(26.5%)の順となっています。「現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない」は、カルチャータウン地区(52.9%)、三輪地区(50.3%)、ウッディタウン地区(48.6%)の順となっています。

(14) 三田市のまちづくりへの関心度

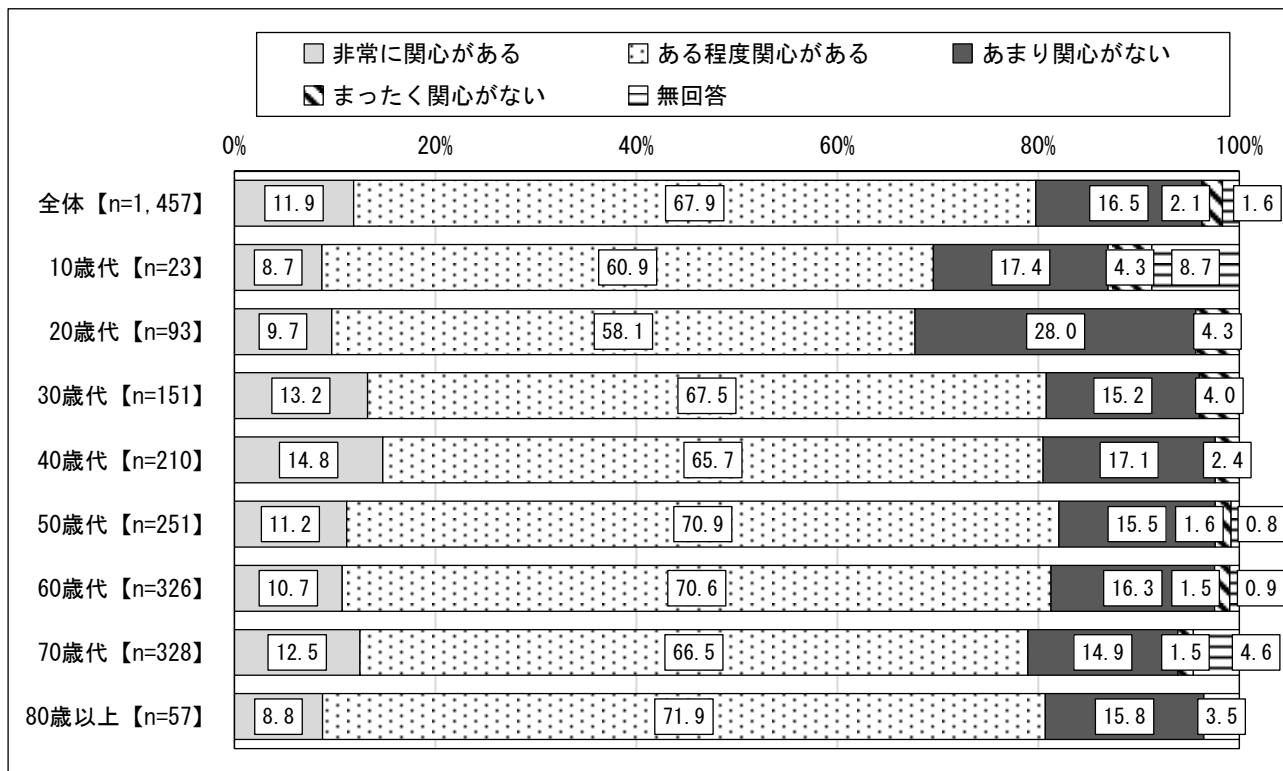
問 14 あなたは、三田市のまちづくりにどの程度関心がありますか。(○は1つ)



三田市のまちづくりへの関心度について、「ある程度関心がある」が67.9%と最も高くなっています。次いで、「あまり関心がない」(16.5%)、「非常に関心がある」(11.9%)、「まったく関心がない」(2.1%)の順となっています。

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は、79.8%となっています。一方、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」を合わせた『関心がない』は、18.6%となっています。

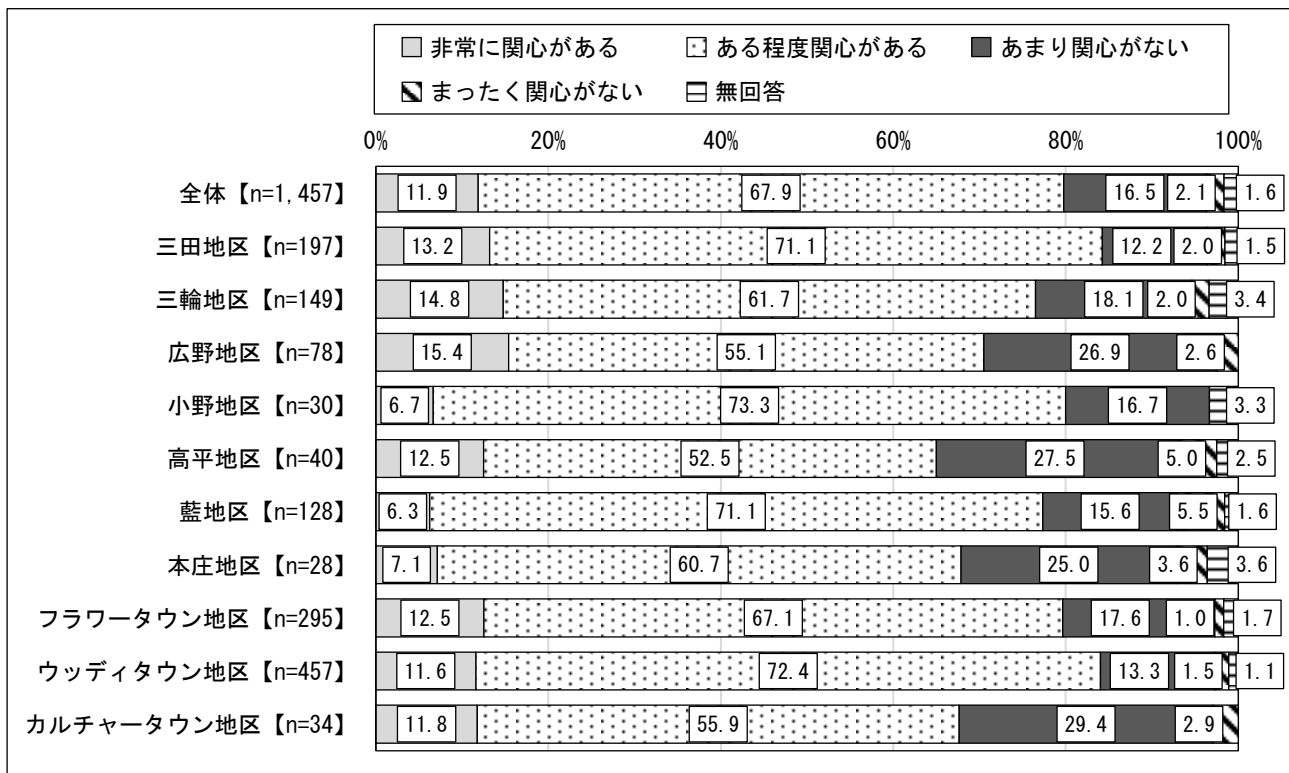
【年代別】



年代別にみると、全ての年代で「ある程度関心がある」は半数を超えています。『関心がある』は、30歳代以上で80%前後となっています。

一方、『関心がない』は、20歳代が32.3%と最も高く、次いで、10歳代が21.7%となっています。10歳代及び20歳代は、他の年代に比べ関心がない割合が高い状況となっています。

【地区別】



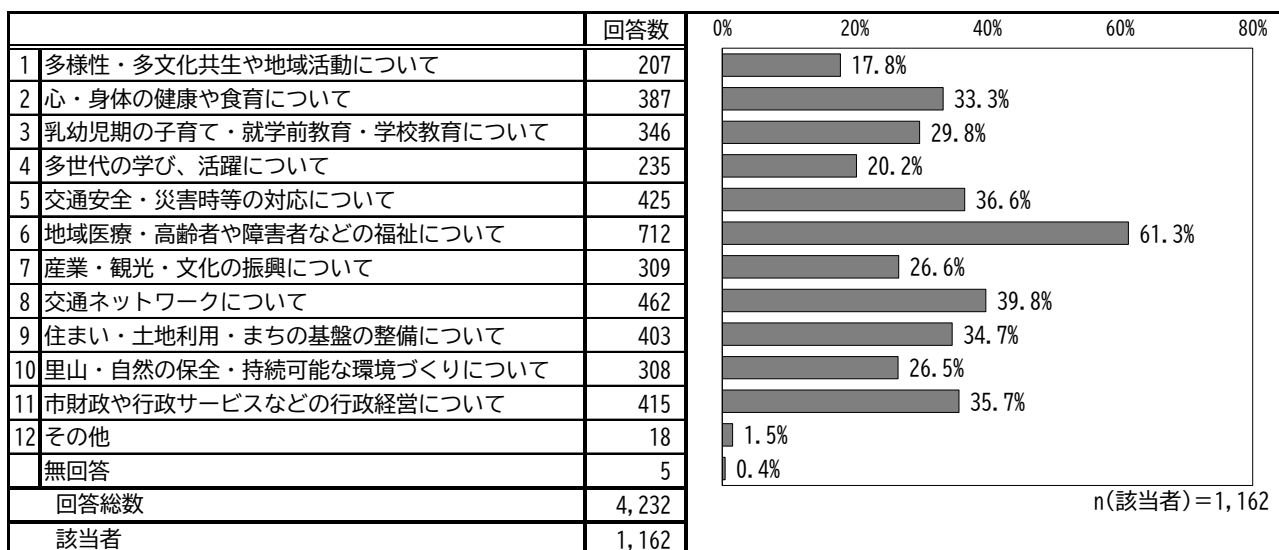
地区別にみると、全ての地区で「ある程度興味がある」は半数を超えています。『関心がある』は、三田地区が84.3%と最も高くなっています。次いで、ウッディタウン地区が(84.0%)、小野地区(80.0%)の順となっています。

一方、『関心がない』は、高平地区(32.5%)、カルチャータウン地区(32.3%)、広野地区(29.5%)の順となっています。

(15) 三田市のまちづくりで関心のある分野

問15 問14で「1 非常に関心がある」、「2 ある程度関心がある」を選択した方にお聞きします。

三田市のまちづくりで関心のある分野は何ですか。(〇はいくつでも)



※「その他」の内容：人口ビジョンについて、就職について など

三田市のまちづくりへの関心度で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」を選択した1,162人を対象に、関心のある分野について尋ねたところ、「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が61.3%と最も高く、次いで、「交通ネットワークについて」(39.8%)、「交通安全・災害時等の対応について」(36.6%)の順となっています。

【年代別】

| | 1 多様性・多文化共生や地域活動について | 2 心・身体の健康や食育について | 3 乳幼児期の子育て・就学前教育・学校教育について | 4 多世代の学び、活躍について | 5 交通安全・災害時等の対応について | 6 地域医療・高齢者や障害者などの福祉について | 7 産業・観光・文化の振興について | 8 交通ネットワークについて | 9 住まい・土地利用・まちの基盤の整備について | 10 里山・自然の保全・持続可能な環境づくりについて | 11 市財政や行政サービスなどの行政経営について | 12 その他 | 無回答 |
|------------------|-------------------------|---------------------|------------------------------|--------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------|-------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-----------|------|
| n(該当者) =1,162 | 17.8% | 33.3% | 29.8% | 20.2% | 36.6% | 61.3% | 26.6% | 39.8% | 34.7% | 26.5% | 35.7% | 1.5% | 0.4% |
| 10歳代 【n=16】 | 18.8% | 31.3% | 31.3% | 18.8% | 25.0% | 18.8% | 37.5% | 18.8% | 31.3% | 25.0% | 43.8% | 0.0% | 0.0% |
| 20歳代 【n=63】 | 12.7% | 20.6% | 42.9% | 11.1% | 20.6% | 36.5% | 31.7% | 42.9% | 34.9% | 15.9% | 31.7% | 1.6% | 1.6% |
| 30歳代 【n=122】 | 15.6% | 31.1% | 73.8% | 13.9% | 33.6% | 41.8% | 27.9% | 29.5% | 46.7% | 19.7% | 36.9% | 0.0% | 0.0% |
| 40歳代 【n=169】 | 18.3% | 27.2% | 53.8% | 20.7% | 33.7% | 52.7% | 30.8% | 38.5% | 38.5% | 25.4% | 35.5% | 0.6% | 0.0% |
| 50歳代 【n=206】 | 16.0% | 25.7% | 21.4% | 22.8% | 39.3% | 57.8% | 27.2% | 44.2% | 40.8% | 28.2% | 37.9% | 1.5% | 0.0% |
| 60歳代 【n=265】 | 18.9% | 37.7% | 20.0% | 21.9% | 40.4% | 70.2% | 29.4% | 44.5% | 32.5% | 27.2% | 33.2% | 1.5% | 0.0% |
| 70歳代 【n=259】 | 21.2% | 40.9% | 12.0% | 23.2% | 39.0% | 76.1% | 20.8% | 38.6% | 29.0% | 30.1% | 36.3% | 2.3% | 1.2% |
| 80歳以上 【n=46】 | 10.9% | 43.5% | 2.2% | 8.7% | 34.8% | 69.6% | 15.2% | 30.4% | 13.0% | 32.6% | 39.1% | 4.3% | 2.2% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

年代別にみると、10歳代は「市財政や行政サービスなどの行政経営について」が最も高くなっています。20～40歳代は「乳幼児期の子育て・就学前教育・学校教育について」が最も高く、20歳代は「交通ネットワークについて」も同数で最も高くなっています。「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」は20歳代以上が関心のある状況となっており、特に50歳代以上は半数を超え最も高くなっています。

II 調査結果

【地区別】

| | 1 多 様 性 ・ 多 文 化 共 生 や 地 域 活 動 に つ い て | 2 心 ・ 身 体 の 健 康 や 食 育 に つ い て | 3 乳 幼 児 期 の 子 育 て ・ 就 学 前 教 育 ・ 学 校 教 育 に つ い て | 4 多 世 代 の 学 び 、 活 躍 に つ い て | 5 交 通 安 全 ・ 災 害 時 等 の 対 応 に つ い て | 6 地 域 医 療 ・ 高 齢 者 や 障 害 者 な ど の 福 祉 に つ い て | 7 産 業 ・ 観 光 ・ 文 化 の 振 興 に つ い て | 8 交 通 ネ ッ ト ワ ー ク に つ い て | 9 住 ま い ・ 土 地 利 用 ・ ま ち の 基 盤 の 整 備 に つ い て | 10 里 山 ・ 自 然 の 保 全 ・ 持 続 可 能 な 環 境 づ く り に つ い て | 11 市 財 政 や 行 政 サ ー ビ ス な ど の 行 政 経 営 に つ い て | 12 そ の 他 | 無 回 答 |
|----------------------|---|---|--|--|---|--|--|---|--|---|---|-------------------|-------------|
| n(該当者) =1,162 | 17.8% | 33.3% | 29.8% | 20.2% | 36.6% | 61.3% | 26.6% | 39.8% | 34.7% | 26.5% | 35.7% | 1.5% | 0.4% |
| 三田地区 【n=166】 | 16.9% | 34.3% | 33.1% | 21.7% | 27.1% | 59.0% | 26.5% | 30.7% | 33.7% | 21.7% | 40.4% | 1.2% | 0.0% |
| 三輪地区 【n=114】 | 16.7% | 25.4% | 25.4% | 13.2% | 45.6% | 59.6% | 26.3% | 42.1% | 28.9% | 30.7% | 33.3% | 1.8% | 0.9% |
| 広野地区 【n=55】 | 27.3% | 27.3% | 27.3% | 10.9% | 38.2% | 54.5% | 27.3% | 41.8% | 41.8% | 30.9% | 30.9% | 0.0% | 1.8% |
| 小野地区 【n=24】 | 8.3% | 20.8% | 20.8% | 12.5% | 29.2% | 66.7% | 20.8% | 29.2% | 25.0% | 29.2% | 29.2% | 0.0% | 0.0% |
| 高平地区 【n=26】 | 26.9% | 26.9% | 19.2% | 19.2% | 46.2% | 73.1% | 26.9% | 61.5% | 26.9% | 34.6% | 38.5% | 0.0% | 0.0% |
| 藍地区 【n=99】 | 12.1% | 35.4% | 23.2% | 17.2% | 33.3% | 71.7% | 12.1% | 56.6% | 26.3% | 31.3% | 38.4% | 0.0% | 0.0% |
| 本庄地区 【n=19】 | 15.8% | 31.6% | 26.3% | 10.5% | 57.9% | 68.4% | 21.1% | 36.8% | 31.6% | 31.6% | 26.3% | 0.0% | 0.0% |
| フラワータウン地区 【n=235】 | 20.0% | 37.4% | 28.9% | 22.1% | 40.4% | 60.0% | 28.1% | 37.9% | 41.7% | 28.1% | 35.3% | 1.7% | 1.3% |
| ウッディタウン地区 【n=384】 | 16.7% | 34.4% | 33.1% | 24.0% | 34.6% | 60.2% | 31.0% | 38.0% | 35.4% | 22.9% | 35.4% | 2.3% | 0.0% |
| カルチャータウン地区 【n=23】 | 26.1% | 26.1% | 39.1% | 13.0% | 47.8% | 47.8% | 17.4% | 39.1% | 34.8% | 30.4% | 34.8% | 0.0% | 0.0% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

地区別にみると、全ての地区で「地域医療・高齢者や障害者などの福祉について」が最も高くなっています。「交通ネットワークについて」は、三田地区及びフラワータウン地区を除く地区で高く、「交通安全・災害時等の対応について」は、三田地区、藍地区及びウッディタウン地区を除く地区で高くなっています。

(16) 三田市のまちづくりに関心がない理由

問16 問14で「3 あまり関心がない」、「4 まったく関心がない」を選択した方にお聞きします。

三田市のまちづくりに関心がない理由をご記入ください。(30文字まで)

問14で三田市のまちづくりに「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した271名を対象に、その理由を尋ねたところ、205件の意見があり、以下のとおりとなっています。

【行政運営について】(50件)

- ・期待をしていない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14件
- ・不自由を感じないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件
- ・政策に賛同できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- ・市民の意見が反映されにくいと感じる・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- ・関心が向く内容がないため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件
- ・政策を知らない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・地域によって対応に差があると感じる・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・少子化や高齢化の対策が見えない・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・地域活動対策が見えない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・税金の使い方に納得できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・若い世代が政治を動かしていないから・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・若者が参加しやすいイベントが少ない・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件

【まちへの思い】(25件)

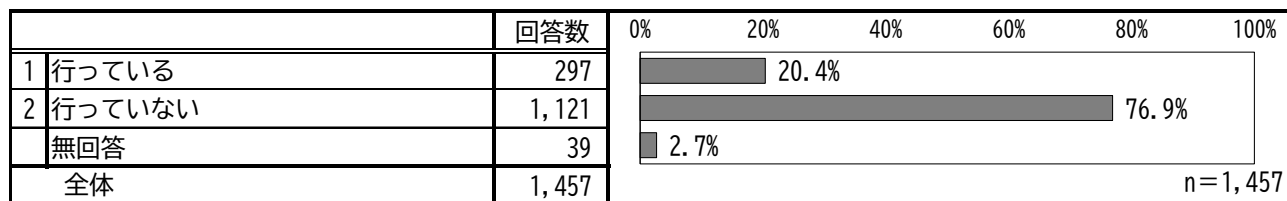
- ・三田市に魅力を感じない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件
- ・三田市に馴染みがないため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件
- ・関心を持つきっかけがない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・三田市に住み続けるかわからない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・不便だと感じるため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・今後も暮らしたいと思えない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件

【その他】(130件)

- ・日々の生活に精一杯で、余裕がない・・・・・・・・・・・・・・・・・・60件
- ・意欲・興味がない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13件
- ・三田市から出ていく予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11件
- ・わからない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11件
- ・高齢のため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9件
- ・体調不良のため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- ・市に任せられるから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・活発に活動できない状況であるため・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・既に近隣市でボランティアをしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・周りに協力してくれる人が居ない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・その他(特になしを含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14件

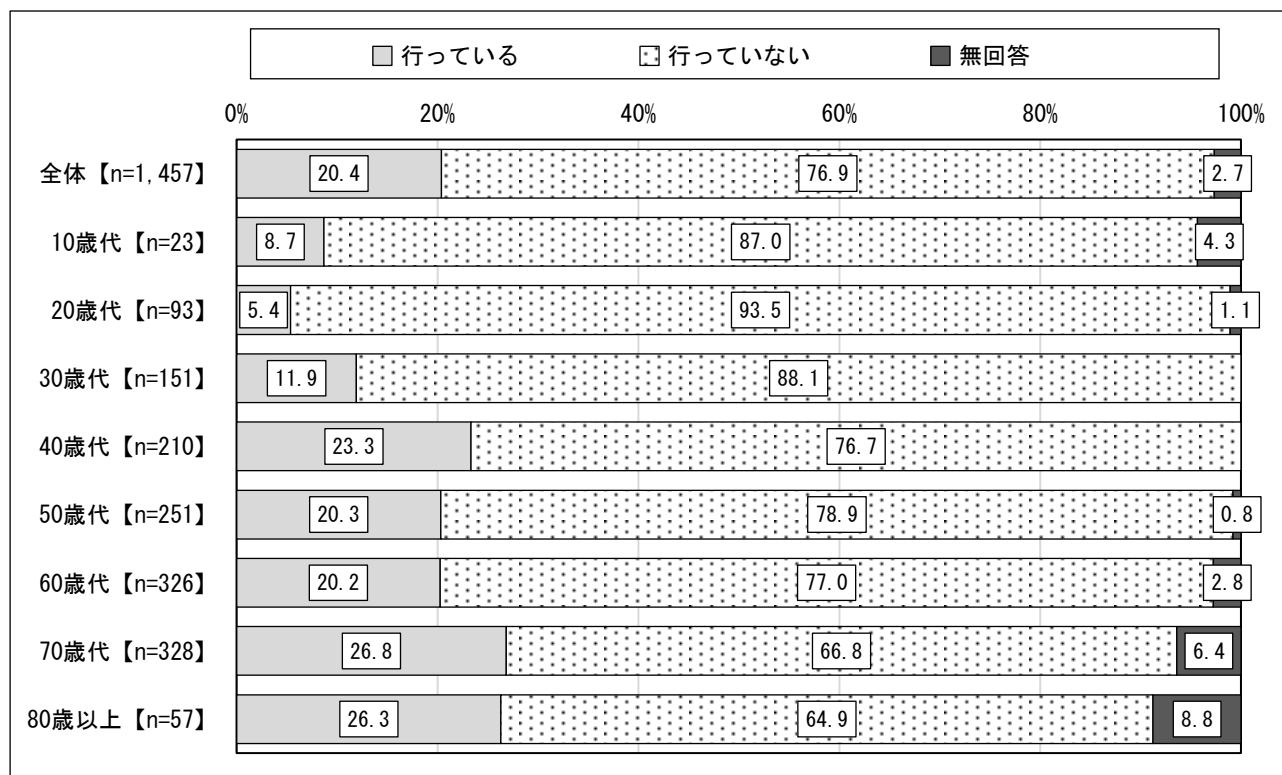
(17) よりよい三田のまちのための取り組み状況

問 17 あなたは、よりよい三田のまちのため意識して行っていることはありますか。(○は1つ)



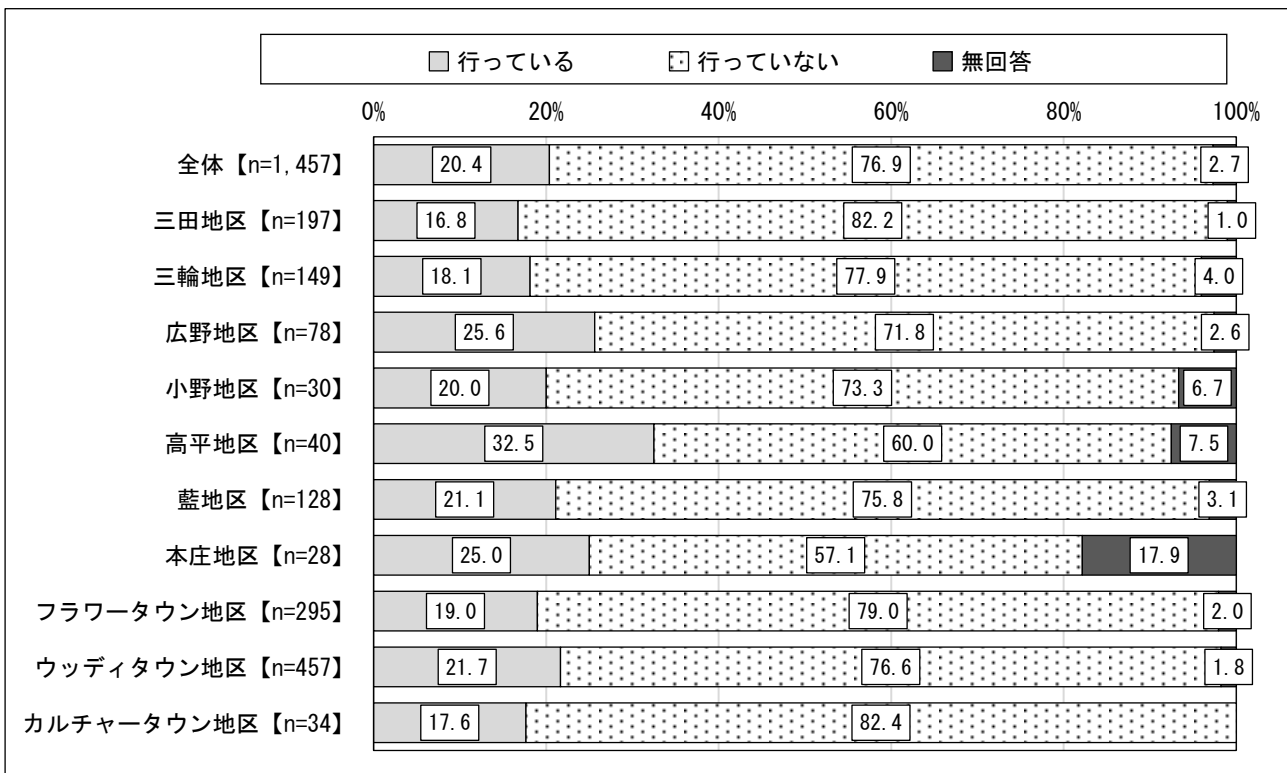
よりよい三田のまちのための取り組み状況について、「行っている」が20.4%、「行っていない」が76.9%となっています。

【年代別】



年代別にみると、「行っている」は、70歳代が26.8%と最も高くなっています。次いで、80歳以上(26.3%)、40歳代(23.3%)の順となっています。10~30歳代は他の年代に比べ低く、20歳代は5.4%と最も低くなっています。

【地区別】



地区別にみると、「行っている」は、高平地区が32.5%と最も高くなっています。次いで、広野地区(25.6%)、本庄地区(25.0%)の順となっています。

一方、「行っていない」は、カルチャータウン地区が82.4%と最も高く、次いで、三田地区(82.2%)、フラワータウン地区(79.0%)の順となっています。

(18) よりよい三田のまちのために行っている事例

問18 問17で「1 行っている」を選択した方にお聞きします。

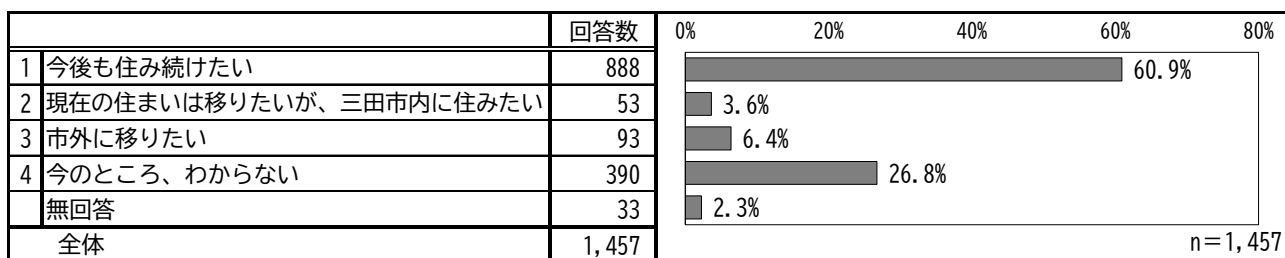
あなたが行っていることをご記入ください。(30文字まで)

問17でよりよい三田のまちのため意識して「行っている」と回答した297名を対象に、その内容を尋ねたところ、285件の意見があり、以下のとおりとなっています。

- ・地域の行事、イベントに参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・88件
- ・まちの清掃やごみ拾い・分別を行っている・・・・・・・・・・・・・・・・35件
- ・区・自治会、まちづくり協議会など地域の活動に関わっている・・・・・・・・31件
- ・クリーンデーに参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22件
- ・高齢者や子どもの見守り・声かけをしている・・・・・・・・・・・・・・19件
- ・ボランティアに参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16件
- ・草刈り・緑化など、地域の環境保全に協力している・・・・・・・・・・・・14件
- ・子どもたちの健やかな成長のために活動している・・・・・・・・・・・・12件
- ・三田市内での買い物、三田産のものを購入するよう意識している・・・・・・・・8件
- ・高齢者、障害者、外国人へのサポートをしている・・・・・・・・・・・・8件
- ・地域防災、防犯活動に関わっている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件
- ・周囲の方とのコミュニケーションを大切にしている・・・・・・・・・・・・4件
- ・税金を納める・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件
- ・交通法規など社会のルールを守っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件
- ・三田市に関する情報収集をしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・市政に対する意見や提案を伝えている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・消防団の活動を行っている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・選挙に行き、投票している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・里山保全参加している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- ・三田の良さをPRしている・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件
- ・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件

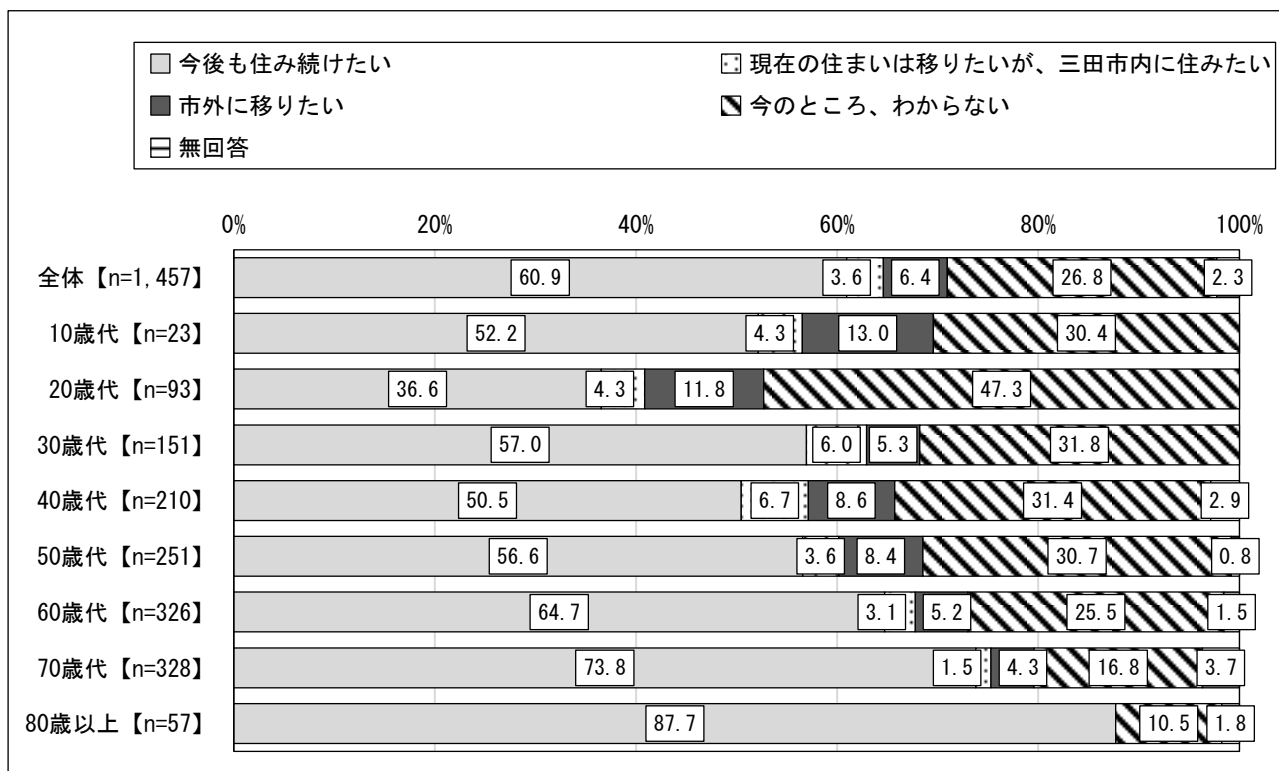
(19) 今後の三田市での居留意向

問 19 あなたは、これからも三田市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)



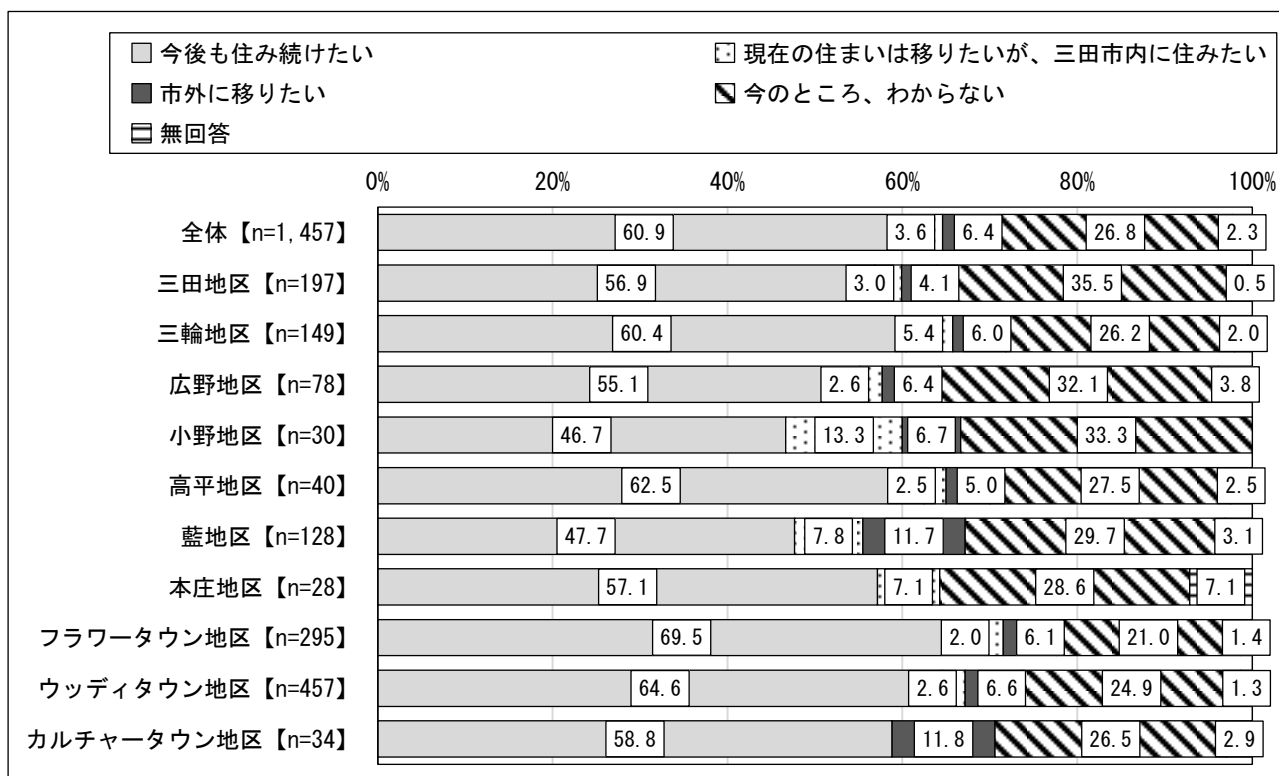
今後の三田市での居留意向について、「今後も住み続けたい」が60.9%と最も高くなっています。次いで、「今のところ、わからない」(26.8%)、「市外に移りたい」(6.4%)、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」(3.6%)の順となっています。

【年代別】



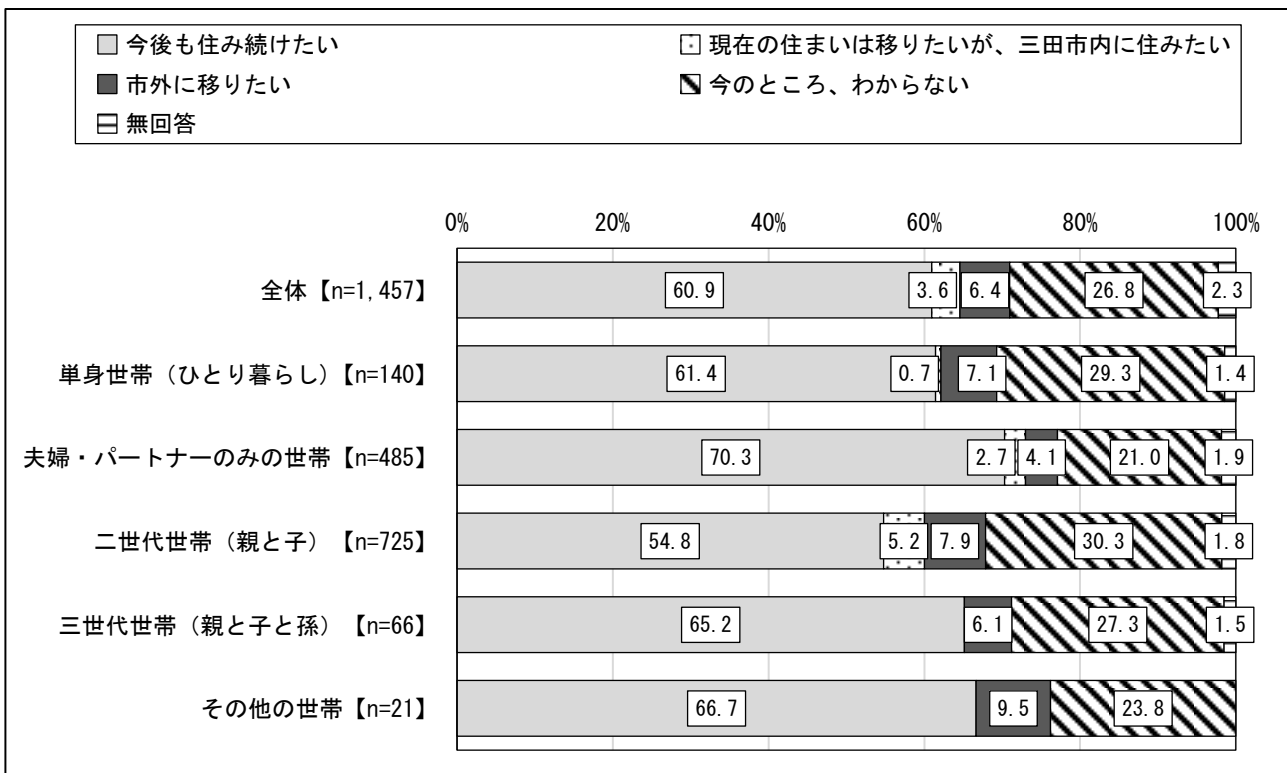
年代別にみると、10歳代及び30歳代以上で「今後も住み続けたい」が半数を超えており、80歳以上で87.7%と最も高くなっています。「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、40歳代で6.7%と最も高くなっており、次いで、30歳代(6.0%)、10歳代及び20歳代(各4.3%)の順となっています。「市外に移りたい」は、10歳代で13.0%と最も高くなっており、次いで、20歳代(11.8%)、40歳代(8.6%)の順となっています。「今のところ、わからない」は、20歳代が47.3%と最も高くなっており、次いで、30歳代(31.8%)、40歳代(31.4%)の順となっています。

【地区別】



地区別にみると、各地区とも「今後も住み続けたい」が最も高くなっており、フラワータウン地区が69.5%と最も高く、次いで、ウッディタウン地区（64.6%）、高平地区（62.5%）の順となっています。「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、小野地区が13.3%と最も高くなっており、次いで、藍地区（7.8%）、本庄地区（7.1%）の順となっています。「市外に移りたい」は、カルチャータウン地区が11.8%と最も高くなっており、次いで、藍地区（11.7%）、小野地区（6.7%）の順となっています。「今のところ、わからない」は、三田地区が35.5%と最も高くなっており、次いで、小野地区（33.3%）、広野地区（32.1%）の順となっています。

【世帯構成別】

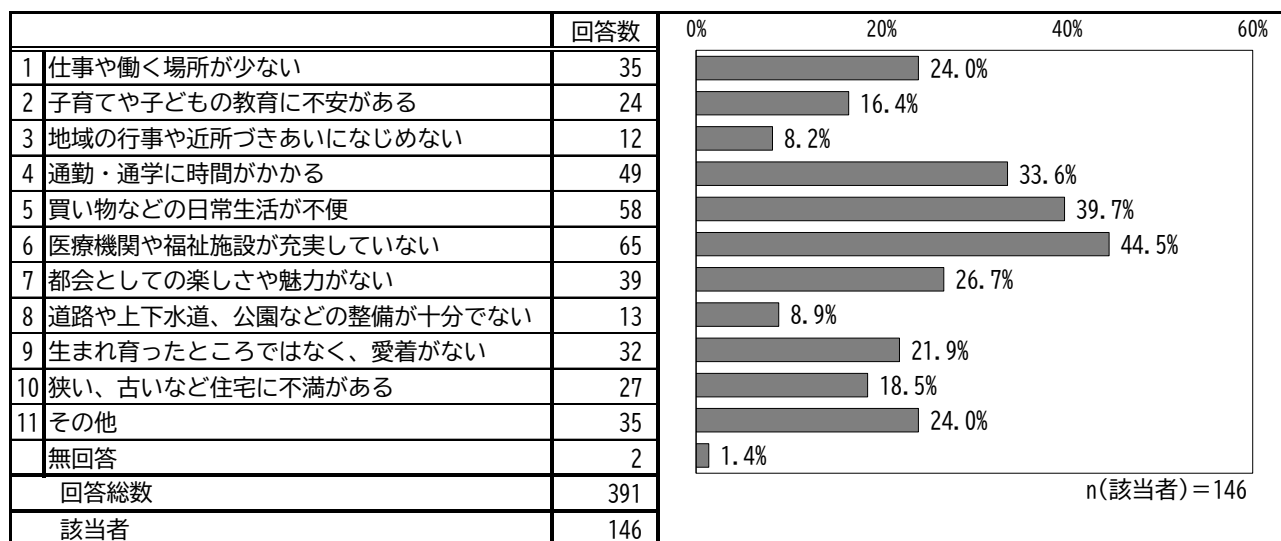


※「その他の世帯」の内容：四世代、兄弟・姉妹 など

世帯構成別にみると、「今後も住みたい」は、夫婦・パートナーのみの世帯が70.3%と最も高くなっています。「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」及び「今のところ、わからない」は、二世帯世帯（親と子）が最も高く、各5.2%、30.3%となっています。「市外に移りたい」は、その他の世帯が9.5%と最も高くなっています。

(20) 転出・転居したい理由

問 20 問 19 で「2 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」、「3 市外に移りたい」を選択した方にお聞きします。転出あるいは転居したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)



※「その他」の内容：市の施設や政策への不満、交通の便がよくない、

自宅の売却や相続先へ転居、家族の近隣で暮らしたい、仕事等の都合転勤・引越し予定 など

転出・転居したい理由について、「医療機関や福祉施設が充実していない」が44.5%と最も高くなっています。次いで、「買い物などの日常生活が不便」(39.7%)、「通勤・通学に時間がかかる」(33.6%)の順となっています。

II 調査結果

【年代別】

| | 1 仕事や働く場所が少ない | 2 子育てや子どもの教育に不安がある | 3 地域の行事や近所づきあいになじめない | 4 通勤・通学に時間がかかる | 5 買い物などの日常生活が不便 | 6 医療機関や福祉施設が充実していない | 7 都会としての楽しさや魅力がない | 8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない | 9 生まれ育ったところではなく、愛着がない | 10 狭い、古いなど住宅に不満がある | 11 その他 | 無回答 |
|----------------|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------|--------------------|------------------------|----------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------|------|
| n(該当者) =146 | 24.0% | 16.4% | 8.2% | 33.6% | 39.7% | 44.5% | 26.7% | 8.9% | 21.9% | 18.5% | 24.0% | 1.4% |
| 10歳代 【n=4】 | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 75.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 20歳代 【n=15】 | 46.7% | 20.0% | 6.7% | 40.0% | 46.7% | 26.7% | 26.7% | 6.7% | 13.3% | 26.7% | 26.7% | 0.0% |
| 30歳代 【n=17】 | 41.2% | 29.4% | 0.0% | 35.3% | 5.9% | 35.3% | 17.6% | 5.9% | 11.8% | 35.3% | 17.6% | 0.0% |
| 40歳代 【n=32】 | 21.9% | 40.6% | 6.3% | 40.6% | 31.3% | 43.8% | 21.9% | 9.4% | 21.9% | 28.1% | 21.9% | 0.0% |
| 50歳代 【n=30】 | 30.0% | 3.3% | 13.3% | 33.3% | 46.7% | 56.7% | 26.7% | 13.3% | 33.3% | 10.0% | 16.7% | 3.3% |
| 60歳代 【n=27】 | 7.4% | 3.7% | 11.1% | 25.9% | 51.9% | 44.4% | 29.6% | 11.1% | 25.9% | 11.1% | 37.0% | 3.7% |
| 70歳代 【n=19】 | 10.5% | 5.3% | 10.5% | 21.1% | 57.9% | 63.2% | 42.1% | 5.3% | 21.1% | 10.5% | 26.3% | 0.0% |
| 80歳以上 【n=0】 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

年代別にみると、最も高い理由が異なっており、10歳代は「通勤・通学に時間がかかる」、20歳代は「仕事や働く場所が少ない」及び「買い物などの日常生活が不便」、30歳代は「仕事や働く場所が少ない」となっています。40歳代、50歳代及び70歳代は「医療機関や福祉施設が充実していない」、60歳代では「買い物などの日常生活が不便」となっています。

【地区別】

| | 1 仕事や働く場所が少ない | 2 子育てや子どもの教育に不安がある | 3 地域の行事や近所づきあいにない | 4 通勤・通学に時間がかかる | 5 買い物などの日常生活が不便 | 6 医療機関や福祉施設が充実していない | 7 都会としての楽しさや魅力がない | 8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない | 9 生まれ育ったところではなく、愛着がない | 10 狭い、古いなど住宅に不満がある | 11 その他 | 無回答 |
|---------------------|------------------|-----------------------|----------------------|-------------------|--------------------|------------------------|----------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------|------|
| n(該当者)=146 | 24.0% | 16.4% | 8.2% | 33.6% | 39.7% | 44.5% | 26.7% | 8.9% | 21.9% | 18.5% | 24.0% | 1.4% |
| 三田地区 【n=14】 | 42.9% | 21.4% | 7.1% | 21.4% | 21.4% | 35.7% | 21.4% | 0.0% | 14.3% | 50.0% | 14.3% | 0.0% |
| 三輪地区 【n=17】 | 17.6% | 23.5% | 5.9% | 23.5% | 29.4% | 35.3% | 17.6% | 11.8% | 23.5% | 11.8% | 29.4% | 0.0% |
| 広野地区 【n=7】 | 14.3% | 28.6% | 28.6% | 28.6% | 42.9% | 28.6% | 28.6% | 14.3% | 42.9% | 14.3% | 57.1% | 0.0% |
| 小野地区 【n=6】 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 16.7% | 100.0% | 16.7% | 16.7% | 16.7% | 16.7% | 33.3% | 16.7% | 0.0% |
| 高平地区 【n=3】 | 0.0% | 33.3% | 0.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 33.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 藍地区 【n=25】 | 4.0% | 8.0% | 0.0% | 48.0% | 88.0% | 68.0% | 24.0% | 8.0% | 28.0% | 12.0% | 20.0% | 0.0% |
| 本庄地区 【n=2】 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| フラワータウン地区 【n=24】 | 33.3% | 29.2% | 12.5% | 20.8% | 29.2% | 41.7% | 37.5% | 16.7% | 20.8% | 25.0% | 37.5% | 0.0% |
| ウッディタウン地区 【n=42】 | 35.7% | 9.5% | 9.5% | 38.1% | 9.5% | 40.5% | 33.3% | 4.8% | 21.4% | 14.3% | 19.0% | 4.8% |
| カルチャータウン地区 【n=4】 | 25.0% | 25.0% | 25.0% | 50.0% | 25.0% | 50.0% | 25.0% | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

地区別にみると、三田地区は、「狭い、古いなど住宅に不満がある」が最も高くなっています。三輪地区、高平地区、フラワータウン地区、ウッディタウン地区、カルチャータウン地区は、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。広野地区は、「その他」が最も高く、老後生活による環境の変化や、職場が県外である、などとなっています。小野地区、高平地区、藍地区、本庄地区は、「買い物などの日常生活が不便」が最も高くなっています。また、高平地区、カルチャータウン地区は、「通勤・通学に時間がかかる」も最も高くなっています。

II 調査結果

【世帯構成別】

| | 1 仕事や働く場所が少ない | 2 子育てや子どもの教育に不安がある | 3 地域の行事や近所づきあいになじめない | 4 通勤・通学に時間がかかる | 5 買い物などの日常生活が不便 | 6 医療機関や福祉施設が充実していない | 7 都会としての楽しさや魅力がない | 8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない | 9 生まれ育ったところではなく、愛着がない | 10 狭い、古いなど住宅に不満がある | 11 その他 | 無回答 |
|-------------------------|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------|--------------------|------------------------|----------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------|------|
| n(該当者)=146 | 24.0% | 16.4% | 8.2% | 33.6% | 39.7% | 44.5% | 26.7% | 8.9% | 21.9% | 18.5% | 24.0% | 1.4% |
| 単身世帯(ひとり暮らし) 【n=11】 | 18.2% | 9.1% | 18.2% | 27.3% | 54.5% | 54.5% | 27.3% | 18.2% | 27.3% | 0.0% | 27.3% | 0.0% |
| 夫婦・パートナーのみの世帯 【n=33】 | 12.1% | 0.0% | 9.1% | 15.2% | 45.5% | 51.5% | 33.3% | 9.1% | 33.3% | 12.1% | 30.3% | 6.1% |
| 二世帯世帯(親と子) 【n=95】 | 28.4% | 22.1% | 7.4% | 38.9% | 34.7% | 40.0% | 26.3% | 8.4% | 18.9% | 24.2% | 22.1% | 0.0% |
| 三世帯世帯(親と子と孫) 【n=4】 | 50.0% | 50.0% | 0.0% | 75.0% | 50.0% | 75.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| その他の世帯 【n=2】 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 50.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

世帯構成別にみると、単身世帯（ひとり暮らし）は、「買い物などの日常生活が不便」及び「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。夫婦・パートナーのみの世帯は、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。二世帯世帯（親と子）は、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。三世帯世帯（親と子と孫）は、「通学・通勤に時間がかかる」及び「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。

【今後の三田市での居留意向別】

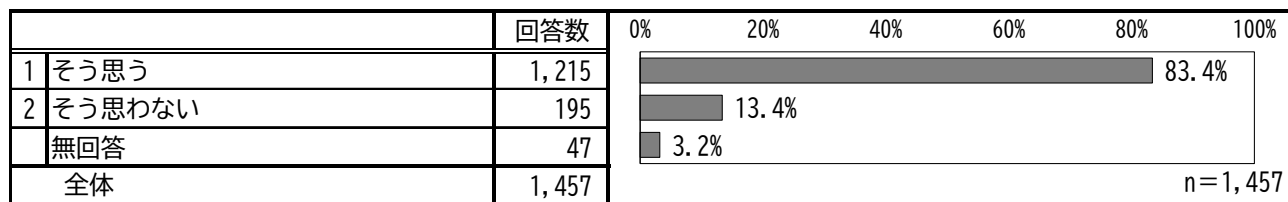
| | 1 仕事や働く場所が少ない | 2 子育てや子どもの教育に不安がある | 3 地域の行事や近所づきあいになじめない | 4 通勤・通学に時間がかかる | 5 買い物などの日常生活が不便 | 6 医療機関や福祉施設が充実していない | 7 都会としての楽しさや魅力がない | 8 道路や上下水道、公園などの整備が十分でない | 9 生まれ育ったところではなく、愛着がない | 10 狭い、古いなど住宅に不満がある | 11 その他 | 無回答 |
|------------------------------|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------|--------------------|------------------------|----------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------|-----------|------|
| n(該当者)=146 | 24.0% | 16.4% | 8.2% | 33.6% | 39.7% | 44.5% | 26.7% | 8.9% | 21.9% | 18.5% | 24.0% | 1.4% |
| 現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい【n=53】 | 7.5% | 13.2% | 5.7% | 13.2% | 45.3% | 30.2% | 3.8% | 0.0% | 7.5% | 37.7% | 22.6% | 3.8% |
| 市外に移りたい【n=93】 | 33.3% | 18.3% | 9.7% | 45.2% | 36.6% | 52.7% | 39.8% | 14.0% | 30.1% | 7.5% | 24.7% | 0.0% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

今後の三田市での居留意向別にみると、「現在の住まいは移りたいが、三田市内に住みたい」は、「買い物などの日常生活が不便」が最も高く、「市外に移りたい」では、「医療機関や福祉施設が充実していない」が最も高くなっています。

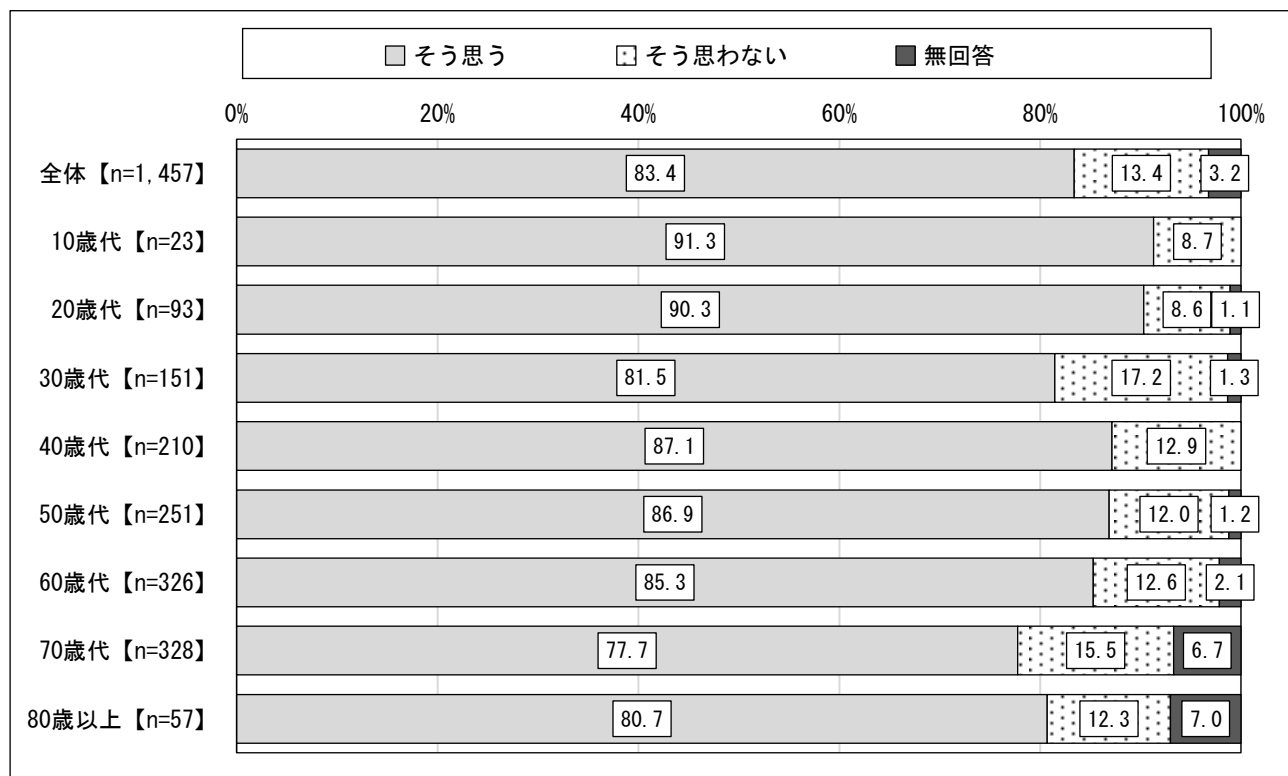
(21) 人権問題の解決に向けての自分の努力

問 21 あなたは、人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思いますか。(〇は1つ)



人権問題の解決に向けて、社会全体で取り組むとともに、自分も努力すべきだと思うかについて、「そう思う」が83.4%、「そう思わない」が13.4%となっています。

【年代別】

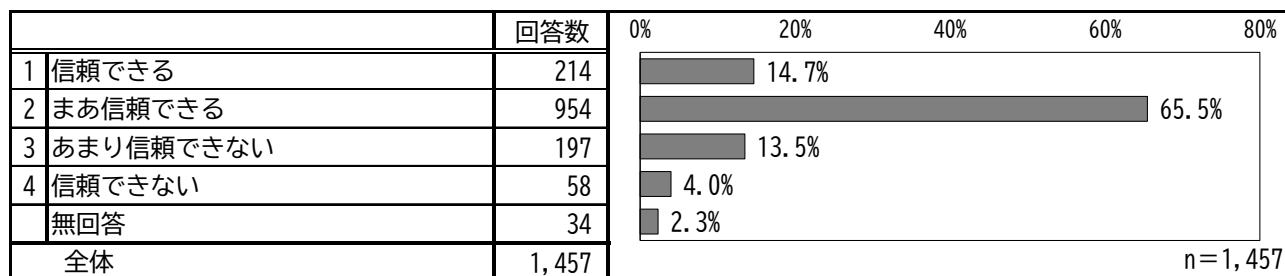


年代別にみると、全ての年代で「そう思う」が最も高くなっており、最も高い割合は、10歳代の91.3%となっています。次いで、20歳代(90.3%)、40歳代(87.1%)の順となっています。

一方、「そう思わない」では、30歳代の17.2%が最も高く、次いで、70歳代(15.5%)、40歳代(12.9%)の順となっています。

(22) 三田市役所に対する信頼の程度

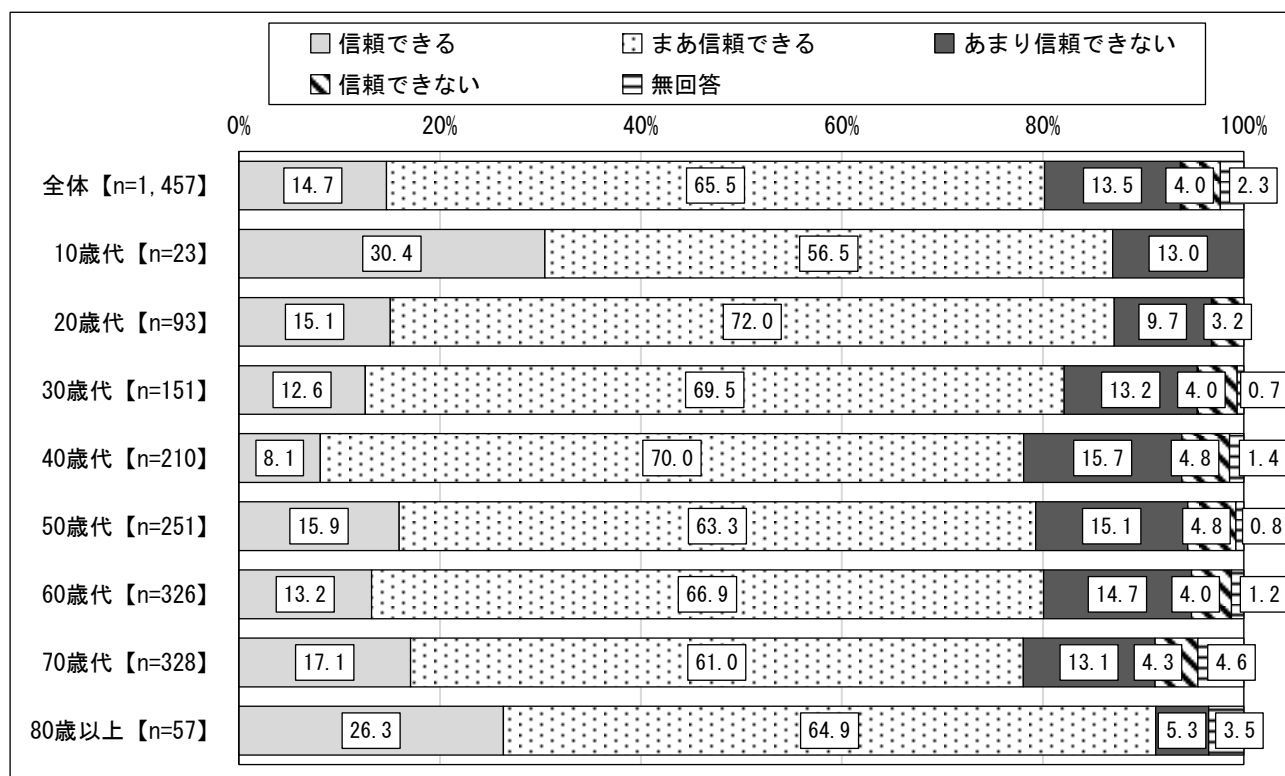
問 22 あなたは、三田市役所を信頼できますか。(○は1つ)



三田市役所に対する信頼の程度は、「まあ信頼できる」が65.5%と最も高く、「信頼できる」が14.7%となっており、「信頼できる」と「まあ信頼できる」を合わせた『信頼できる』は80.2%となっています。

一方、「あまり信頼できない」が13.5%、「信頼できない」が4.0%となっており、「あまり信頼できない」と「信頼できない」を合わせた『信頼できない』は17.5%となっています。

【年代別】



年代別にみると、「信頼できる」は、10歳代(30.4%)、80歳以上(26.3%)が他の年代と比べて高くなっています。『信頼できる』は、80歳以上の91.2%が最も高く、次いで、20歳代(87.1%)、10歳代(86.9%)の順となっています。

一方、『信頼できない』は、40歳代の20.5%が最も高くなっています。次いで、50歳代(19.9%)、60歳代(18.7%)の順となっています。

(23) 三田市役所を信頼できない理由

問 23 問 22 で「4 信頼できない」を選択した方にお聞きします。

三田市役所を信頼できない理由をご記入ください。(30 文字まで)

問 22 で三田市役所を「信頼できない」と回答した 58 名を対象に、その理由を尋ねたところ、58 件の意見があり、以下のとおりとなっています。

【行政運営について】(40 件)

- ・政策等に不満や不信がある・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27 件
- ・税金の使い方に納得できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 件
- ・必要な説明、情報が不十分である・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 件
- ・子育て世代に対する施策が近隣他市と比べて不足している・・・・ 2 件
- ・希望する手続きが認められていなかった・・・・・・・・・・・・・・ 2 件
- ・行政に自主性が感じられない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・他部署と連携し対応してほしい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件

【市職員の対応について】(12 件)

- ・職員の対応が不適切である・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 件
- ・職員の対応が市民を優先していないと感じる・・・・・・・・・・・・ 3 件
- ・市民への十分な対応ができていない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 件

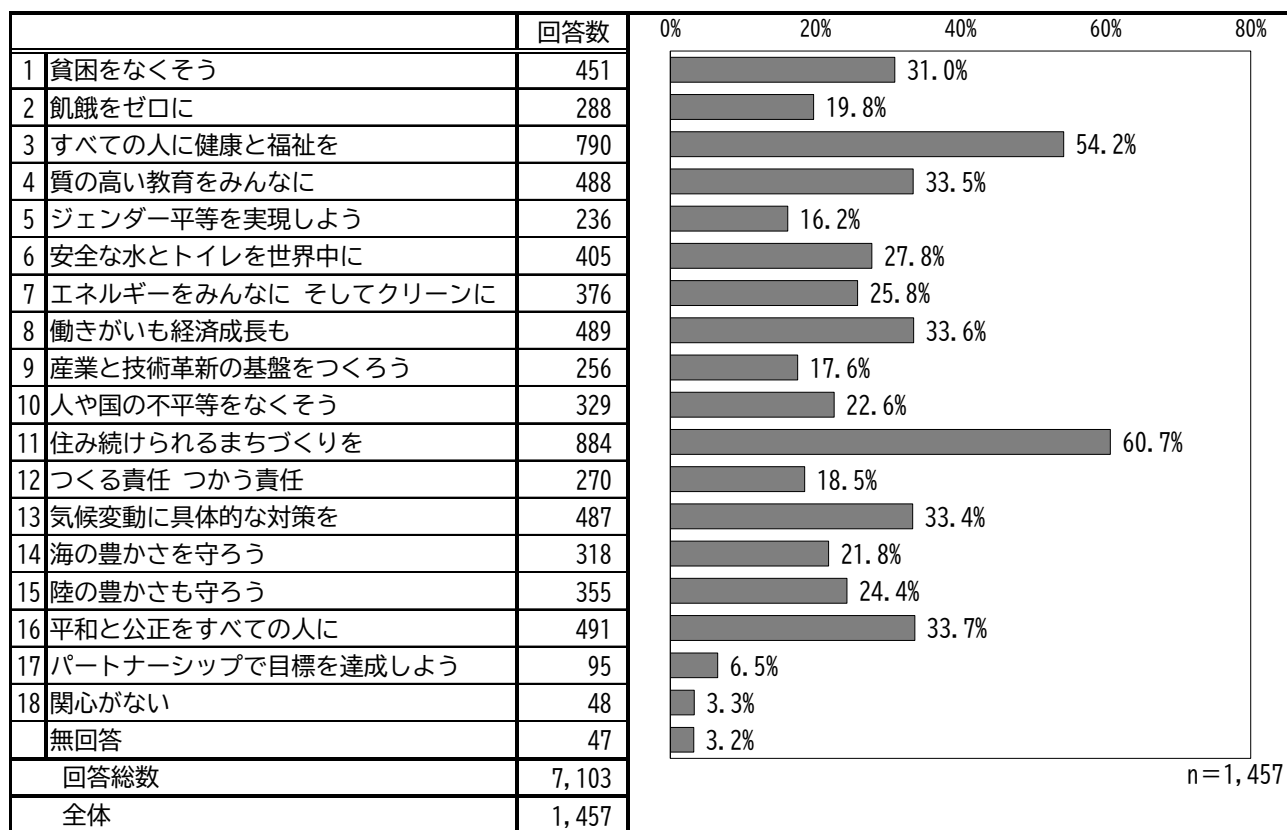
【その他】(6 件)

- ・市のイベントが縮小されたから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・市役所に行く機会がなく、わからない・・・・・・・・・・・・・・ 1 件
- ・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 件

(24) 「SDGs (持続可能な開発目標)」の17のゴールの中で興味のあるジャンル

問24 「SDGs」の17のゴールの中で、あなたが興味のあるジャンルはどれですか。

(○はいくつでも)



「SDGs」の17のゴールの中で興味のあるジャンルについて、「11. 住み続けられるまちづくりを」が60.7%と最も高くなっています。次いで、「3. すべての人に健康と福祉を」(54.2%)、「16. 平和と公正をすべての人に」(33.7%)の順となっています。

一方、「17. パートナーシップで目標を達成しよう」が6.5%と最も低くなっています。

II 調査結果

【年代別】

| | 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に | 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 | 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさを守ろう | 16 平和と公正をすべての人に | 17 パートナーシップで目標を達成しよう | 18 関心がない | 無回答 |
|-----------------|--------------|-------------|-------------------|------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------|-------------------|--------------------|-----------------|-----------------|--------------------|-------------------------|-------------|------|
| 全体 【n=1,457】 | 31.0% | 19.8% | 54.2% | 33.5% | 16.2% | 27.8% | 25.8% | 33.6% | 17.6% | 22.6% | 60.7% | 18.5% | 33.4% | 21.8% | 24.4% | 33.7% | 6.5% | 3.3% | 3.2% |
| 10歳代 【n=23】 | 34.8% | 17.4% | 26.1% | 43.5% | 26.1% | 17.4% | 21.7% | 39.1% | 21.7% | 21.7% | 47.8% | 17.4% | 26.1% | 21.7% | 30.4% | 34.8% | 13.0% | 4.3% | 4.3% |
| 20歳代 【n=93】 | 28.0% | 14.0% | 40.9% | 24.7% | 21.5% | 24.7% | 12.9% | 43.0% | 12.9% | 21.5% | 40.9% | 15.1% | 20.4% | 22.6% | 25.8% | 31.2% | 11.8% | 5.4% | 1.1% |
| 30歳代 【n=151】 | 31.8% | 23.8% | 48.3% | 55.0% | 23.2% | 38.4% | 21.2% | 44.4% | 21.9% | 23.2% | 54.3% | 12.6% | 19.9% | 23.2% | 21.9% | 35.8% | 9.3% | 4.0% | 0.7% |
| 40歳代 【n=210】 | 35.2% | 22.9% | 53.3% | 48.1% | 21.0% | 27.1% | 24.8% | 41.9% | 19.5% | 23.3% | 57.6% | 21.4% | 31.4% | 22.4% | 22.4% | 34.8% | 7.1% | 3.3% | 1.0% |
| 50歳代 【n=251】 | 30.7% | 21.5% | 53.8% | 31.1% | 19.9% | 29.1% | 26.7% | 38.6% | 18.3% | 19.9% | 56.2% | 20.7% | 33.9% | 21.9% | 25.5% | 32.3% | 7.6% | 2.4% | 0.8% |
| 60歳代 【n=326】 | 28.2% | 18.7% | 60.4% | 29.8% | 12.9% | 22.4% | 29.8% | 28.8% | 14.4% | 23.3% | 67.2% | 16.9% | 40.5% | 22.7% | 26.1% | 30.1% | 4.0% | 4.3% | 2.8% |
| 70歳代 【n=328】 | 32.6% | 18.6% | 57.9% | 25.6% | 10.1% | 29.9% | 29.6% | 25.6% | 20.7% | 25.3% | 69.2% | 20.7% | 39.0% | 20.7% | 25.0% | 39.3% | 5.2% | 1.5% | 6.1% |
| 80歳以上 【n=57】 | 29.8% | 19.3% | 64.9% | 17.5% | 7.0% | 31.6% | 24.6% | 15.8% | 7.0% | 14.0% | 71.9% | 19.3% | 35.1% | 22.8% | 22.8% | 29.8% | 5.3% | 3.5% | 5.3% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

年代別にみると、「11. 住み続けられるまちづくりを」が20歳代及び30歳代を除く年代で最も高くなっており、20歳代では、「8. 働きがいも経済成長も」、30歳代では、「4. 質の高い教育をみんなに」が最も高くなっています。

【地区別】

| | 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に | 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任 つかう責任 | 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさを守ろう | 16 平和と公正をすべての人に | 17 パートナーシップで目標を達成しよう | 18 関心がない | 無回答 |
|----------------------|--------------|-------------|-------------------|------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------|----------------------|--------------------|---------------------|-------------------|--------------------|-----------------|-----------------|--------------------|-------------------------|-------------|-------|
| 全体 【n=1,457】 | 31.0% | 19.8% | 54.2% | 33.5% | 16.2% | 27.8% | 25.8% | 33.6% | 17.6% | 22.6% | 60.7% | 18.5% | 33.4% | 21.8% | 24.4% | 33.7% | 6.5% | 3.3% | 3.2% |
| 三田地区 【n=197】 | 35.0% | 20.8% | 57.4% | 36.5% | 13.7% | 32.5% | 26.9% | 42.6% | 21.8% | 23.4% | 60.4% | 18.3% | 32.5% | 19.8% | 25.9% | 33.0% | 10.7% | 2.0% | 2.5% |
| 三輪地区 【n=149】 | 33.6% | 20.1% | 51.7% | 32.2% | 20.8% | 27.5% | 20.8% | 29.5% | 16.1% | 22.1% | 57.0% | 11.4% | 31.5% | 17.4% | 22.8% | 30.9% | 6.7% | 2.0% | 5.4% |
| 広野地区 【n=78】 | 38.5% | 14.1% | 56.4% | 35.9% | 7.7% | 25.6% | 20.5% | 35.9% | 16.7% | 29.5% | 48.7% | 16.7% | 25.6% | 21.8% | 21.8% | 37.2% | 9.0% | 0.0% | 1.3% |
| 小野地区 【n=30】 | 43.3% | 26.7% | 50.0% | 20.0% | 16.7% | 23.3% | 13.3% | 33.3% | 10.0% | 26.7% | 40.0% | 10.0% | 36.7% | 20.0% | 16.7% | 40.0% | 0.0% | 0.0% | 3.3% |
| 高平地区 【n=40】 | 27.5% | 25.0% | 67.5% | 15.0% | 17.5% | 27.5% | 20.0% | 22.5% | 10.0% | 25.0% | 57.5% | 7.5% | 27.5% | 15.0% | 25.0% | 35.0% | 7.5% | 2.5% | 2.5% |
| 藍地区 【n=128】 | 29.7% | 18.0% | 59.4% | 21.1% | 11.7% | 20.3% | 28.1% | 35.2% | 15.6% | 22.7% | 61.7% | 21.1% | 43.8% | 19.5% | 25.8% | 28.9% | 4.7% | 3.1% | 2.3% |
| 本庄地区 【n=28】 | 32.1% | 14.3% | 57.1% | 14.3% | 10.7% | 28.6% | 21.4% | 17.9% | 7.1% | 28.6% | 53.6% | 17.9% | 25.0% | 21.4% | 17.9% | 32.1% | 3.6% | 10.7% | 10.7% |
| フラワータウン地区 【n=295】 | 30.2% | 20.3% | 54.2% | 36.6% | 16.3% | 32.2% | 29.2% | 32.5% | 20.0% | 18.6% | 66.1% | 23.1% | 36.3% | 24.7% | 25.4% | 40.3% | 6.8% | 4.4% | 1.4% |
| ウッディタウン地区 【n=457】 | 28.2% | 19.3% | 52.7% | 37.9% | 18.8% | 26.3% | 27.4% | 33.9% | 17.5% | 23.0% | 64.8% | 19.0% | 31.9% | 23.0% | 24.1% | 31.3% | 5.5% | 3.3% | 2.6% |
| カルチャータウン地区 【n=34】 | 29.4% | 35.3% | 50.0% | 38.2% | 17.6% | 29.4% | 26.5% | 35.3% | 20.6% | 23.5% | 50.0% | 23.5% | 38.2% | 38.2% | 38.2% | 41.2% | 2.9% | 8.8% | 2.9% |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

地区別にみると、全体の結果同様、全地区にて「11. 住み続けられるまちづくりを」及び「3. すべての人に健康と福祉を」が高くなっています。

また、複数の地区では、「1. 貧困をなくそう」及び「16. 平和と公正をすべての人に」の割合も高くなっています。

フラワータウン地区では 17 のゴールのうち全体での割合より高いゴールが 13 あり、数多くのゴールに興味があることがうかがえます。

(25) まちづくりの各分野の満足度と重要度

問 25 第5次総合計画で定める次の施策体系のうち、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する「満足度」と、これからのまちづくりを進めていくうえでの「重要度」について、それぞれ5段階であなたの考えに最も近い番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※各分野に関する「満足度」及び「重要度」の平均値について、回答1件あたりにそれぞれ以下のとおりに配点し、これらを合計したものを回答合計数で除した。

| 満足度 | 重要度 | 配点 |
|-------------|--------------|-------|
| 5 (満足) | 5 (重要) | 5ポイント |
| 4 (やや満足) | 4 (やや重要) | 4ポイント |
| 3 (どちらでもない) | 3 (どちらでもない) | 3ポイント |
| 2 (やや不満) | 2 (あまり重要でない) | 2ポイント |
| 1 (不満) | 1 (重要でない) | 1ポイント |

(満足度)

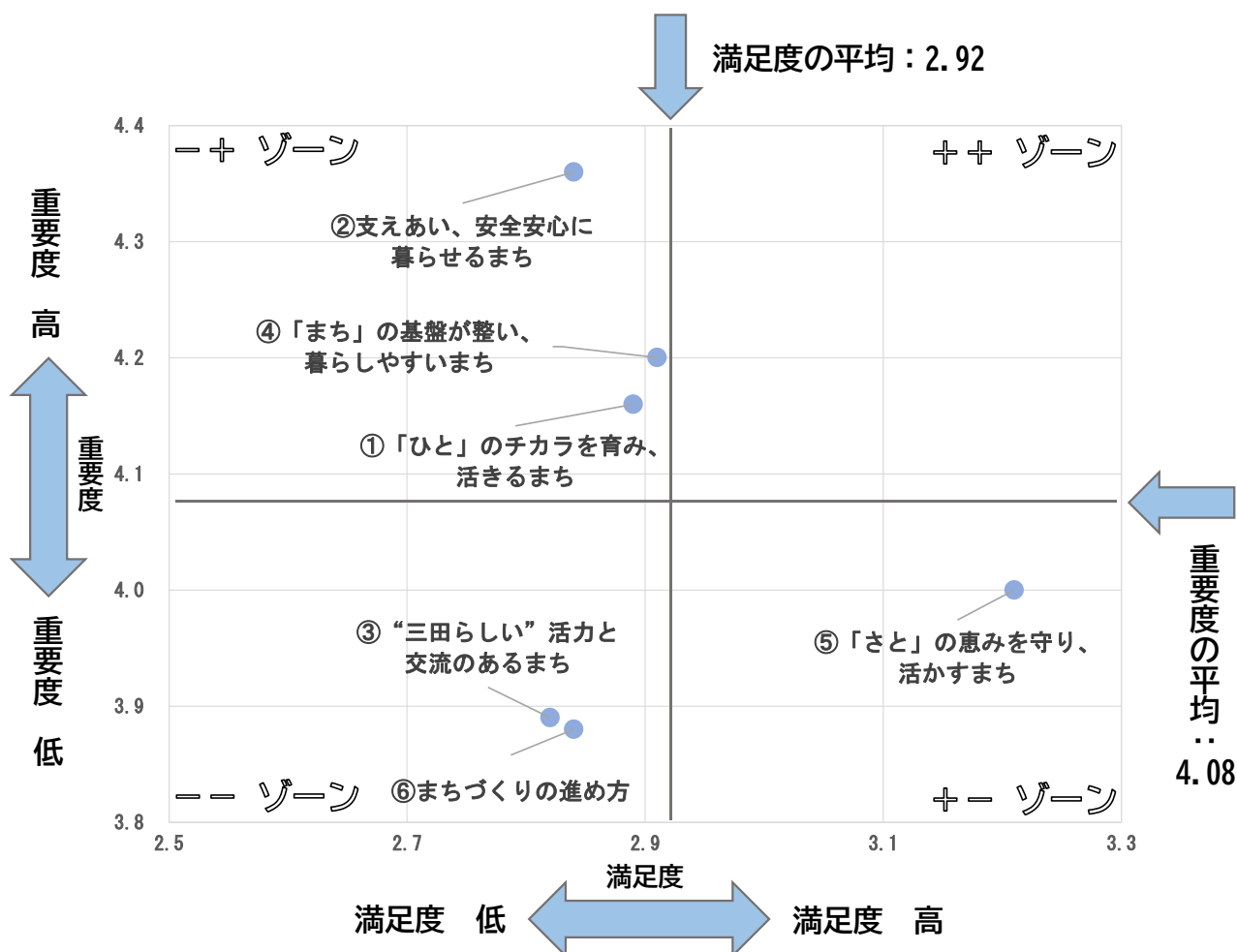
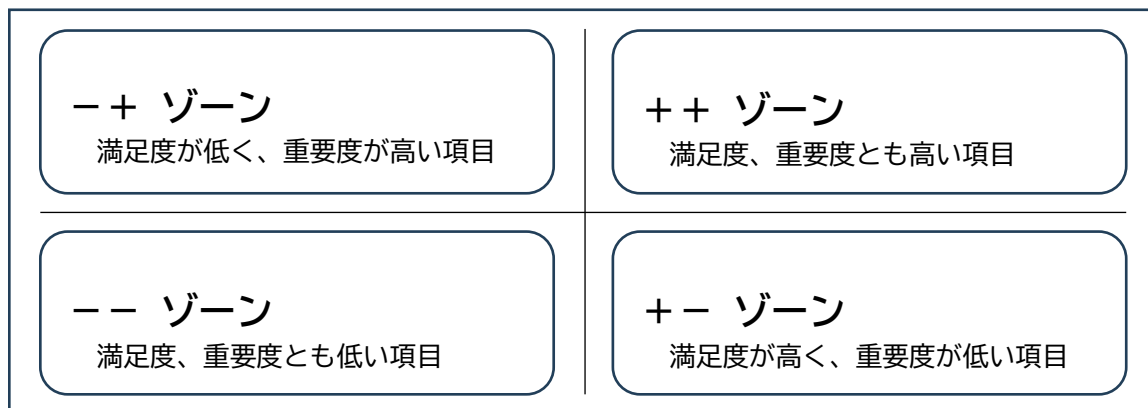
| | 0pt | 1pt | 2pt | 3pt | 4pt | 5pt |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 1 「ひと」のチカラを育み、活きるまち | | | | | | 2.89pt |
| 2 支えあい、安全安心に暮らせるまち | | | | | | 2.84pt |
| 3 “三田らしい” 活力と交流のあるまち | | | | | | 2.82pt |
| 4 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち | | | | | | 2.91pt |
| 5 「さと」の恵みを守り、活かすまち | | | | | | 3.21pt |
| 6 まちづくりの進め方 | | | | | | 2.84pt |

三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する満足度について、『「さと」の恵みを守り、活かすまち』が3.21ポイントと最も高くなっています。次いで、『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』(2.91ポイント)、『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』(2.89ポイント)の順となっています。

(重要度)

| | 0pt | 1pt | 2pt | 3pt | 4pt | 5pt |
|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| 1 「ひと」のチカラを育み、活きるまち | | | | | | 4.16pt |
| 2 支えあい、安全安心に暮らせるまち | | | | | | 4.36pt |
| 3 “三田らしい” 活力と交流のあるまち | | | | | | 3.89pt |
| 4 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち | | | | | | 4.20pt |
| 5 「さと」の恵みを守り、活かすまち | | | | | | 4.00pt |
| 6 まちづくりの進め方 | | | | | | 3.88pt |

重要度については、『支えあい、安全安心に暮らせるまち』が4.36ポイントと最も高くなっています。次いで、『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』(4.20ポイント)、『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』(4.16ポイント)の順となっています。



満足度を横軸、重要度を縦軸に取って散布図を作成すると、各平均との比較で「++ ゾーン」「+- ゾーン」「-- ゾーン」「-+ ゾーン」の4象限を作成することができます。このうち、満足度が低く、重要度が高い「-+ ゾーン」には、①『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』、②『支えあい、安全安心に暮らせるまち』、④『「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち』が含まれています。

II 調査結果

【年代別】

(満足度)

| | 1 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち | 2 支えあい、安全安心に 暮らせるまち | 3 “三田らしい” 活力と 交流のあるまち | 4 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち | 5 「さと」の恵みを守り、 活かすまち | 6 まちづくりの進め方 | 平均 |
|-----------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|----------------|------|
| 全体 [n=1,457] | 2.89 | 2.84 | 2.82 | 2.91 | 3.21 | 2.84 | 2.92 |
| 10歳代 [n=23] | 3.52 | 3.48 | 3.24 | 3.48 | 3.86 | 3.24 | 3.47 |
| 20歳代 [n=93] | 2.94 | 2.90 | 2.87 | 2.98 | 3.31 | 2.91 | 2.99 |
| 30歳代 [n=151] | 2.98 | 2.91 | 2.97 | 3.10 | 3.50 | 2.97 | 3.07 |
| 40歳代 [n=210] | 2.81 | 2.77 | 2.84 | 2.95 | 3.33 | 2.81 | 2.92 |
| 50歳代 [n=251] | 2.86 | 2.85 | 2.80 | 2.84 | 3.20 | 2.80 | 2.89 |
| 60歳代 [n=326] | 2.82 | 2.78 | 2.75 | 2.80 | 3.08 | 2.80 | 2.84 |
| 70歳代 [n=328] | 2.90 | 2.84 | 2.79 | 2.89 | 3.07 | 2.80 | 2.88 |
| 80歳以上 [n=57] | 3.00 | 2.96 | 2.86 | 2.92 | 3.22 | 2.91 | 2.98 |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

満足度を年代別にみると、全ての年代で『「さと」の恵みを守り、活かすまち』が最も高く、3.00ポイント以上となっています。全分野の平均は、10歳代が3.47ポイントと最も高く、全体（2.92ポイント）より0.55ポイント上回っています。次いで、30歳代（3.07ポイント）、20歳代（2.99ポイント）の順となっています。

一方、全分野の平均で最も低いのは、60歳代の2.84ポイントとなっています。

(重要度)

| | 1 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち | 2 支えあい、安全安心に 暮らせるまち | 3 “三田らしい” 活力と 交流のあるまち | 4 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち | 5 「さと」の恵みを守り、 活かすまち | 6 まちづくりの進め方 | 平均 |
|-----------------|----------------------------|---------------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------|----------------|------|
| 全体 [n=1,457] | 4.16 | 4.36 | 3.89 | 4.20 | 4.00 | 3.88 | 4.08 |
| 10歳代 [n=23] | 4.29 | 4.14 | 3.95 | 4.24 | 4.19 | 3.95 | 4.13 |
| 20歳代 [n=93] | 4.25 | 4.29 | 3.85 | 4.09 | 3.94 | 3.63 | 4.01 |
| 30歳代 [n=151] | 4.35 | 4.40 | 3.80 | 4.13 | 4.00 | 3.83 | 4.09 |
| 40歳代 [n=210] | 4.24 | 4.42 | 3.87 | 4.19 | 3.89 | 3.84 | 4.08 |
| 50歳代 [n=251] | 4.08 | 4.31 | 3.87 | 4.20 | 3.96 | 3.84 | 4.04 |
| 60歳代 [n=326] | 4.14 | 4.45 | 3.95 | 4.28 | 4.07 | 3.95 | 4.14 |
| 70歳代 [n=328] | 4.06 | 4.31 | 3.89 | 4.23 | 4.05 | 3.96 | 4.08 |
| 80歳以上 [n=57] | 4.02 | 4.13 | 3.88 | 3.96 | 3.98 | 3.94 | 3.99 |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

重要度を年代別にみると、10歳代は『「ひと」のチカラを育み、活きるまち』、20～80歳以上は『支えあい、安全安心に暮らせるまち』が最も高くなっています。全分野の平均は、60歳代が4.14ポイントと最も高くなっています。次いで、10歳代（4.13ポイント）、30歳代（4.09ポイント）の順となっています。

一方、全分野の平均で最も低いのは、80歳以上の3.99ポイントとなっています。

【地区別】

(満足度)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 平均 |
|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|-----------|------|
| | 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち | 支えあい、安全安心に 暮らせるまち | “三田らしい”活力と 交流のあるまち | 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち | 「さと」の恵みを守り、 活かすまち | まちづくりの進め方 | |
| 全体 【n=1,457】 | 2.89 | 2.84 | 2.82 | 2.91 | 3.21 | 2.84 | 2.92 |
| 三田地区 【n=197】 | 2.95 | 2.97 | 2.88 | 3.00 | 3.24 | 2.93 | 3.00 |
| 三輪地区 【n=149】 | 2.91 | 2.94 | 2.85 | 2.84 | 3.11 | 2.86 | 2.92 |
| 広野地区 【n=78】 | 2.82 | 2.79 | 2.77 | 2.72 | 3.15 | 2.88 | 2.86 |
| 小野地区 【n=30】 | 2.71 | 2.96 | 2.66 | 2.41 | 3.07 | 2.72 | 2.76 |
| 高平地区 【n=40】 | 2.73 | 2.63 | 2.55 | 2.44 | 2.88 | 2.55 | 2.63 |
| 藍地区 【n=128】 | 2.72 | 2.60 | 2.77 | 2.52 | 3.15 | 2.73 | 2.75 |
| 本庄地区 【n=28】 | 2.39 | 2.40 | 2.40 | 2.19 | 2.43 | 2.50 | 2.39 |
| フラワータウン地区 【n=295】 | 2.84 | 2.80 | 2.75 | 2.98 | 3.24 | 2.78 | 2.90 |
| ウツディタウン地区 【n=457】 | 3.00 | 2.90 | 2.94 | 3.11 | 3.31 | 2.91 | 3.03 |
| カルチャータウン地区 【n=34】 | 2.66 | 2.65 | 2.65 | 2.76 | 3.32 | 2.68 | 2.79 |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

満足度を地区別にみると、本庄地区を除く全ての地区で『「さと」の恵みを守り、活かすまち』が最も高くなっています。全分野の平均は、ウツディタウン地区が3.03ポイントと最も高くなっています。次いで、三田地区(3.00ポイント)、三輪地区(2.92ポイント)の順となっています。

一方、本庄地区は2.39ポイントと最も低く、全分野の平均(2.92ポイント)より0.53ポイント低くなっています。

(重要度)

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 平均 |
|----------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------|----------------------|-----------|------|
| | 「ひと」のチカラを育み、 活きるまち | 支えあい、安全安心に 暮らせるまち | “三田らしい”活力と 交流のあるまち | 「まち」の基盤が整い、 暮らしやすいまち | 「さと」の恵みを守り、 活かすまち | まちづくりの進め方 | |
| 全体 【n=1,457】 | 4.16 | 4.36 | 3.89 | 4.20 | 4.00 | 3.88 | 4.08 |
| 三田地区 【n=197】 | 4.17 | 4.29 | 3.93 | 4.13 | 4.03 | 3.85 | 4.07 |
| 三輪地区 【n=149】 | 4.04 | 4.24 | 3.88 | 4.11 | 3.89 | 3.75 | 3.99 |
| 広野地区 【n=78】 | 4.11 | 4.32 | 3.99 | 4.21 | 4.07 | 4.01 | 4.12 |
| 小野地区 【n=30】 | 4.07 | 4.14 | 3.93 | 4.14 | 4.07 | 3.72 | 4.01 |
| 高平地区 【n=40】 | 4.05 | 4.23 | 3.95 | 4.36 | 4.18 | 4.03 | 4.13 |
| 藍地区 【n=128】 | 4.11 | 4.39 | 3.82 | 4.35 | 4.10 | 3.96 | 4.12 |
| 本庄地区 【n=28】 | 4.30 | 4.50 | 3.73 | 4.05 | 3.91 | 3.86 | 4.06 |
| フラワータウン地区 【n=295】 | 4.11 | 4.39 | 3.86 | 4.20 | 3.96 | 3.90 | 4.07 |
| ウツディタウン地区 【n=457】 | 4.23 | 4.41 | 3.89 | 4.21 | 3.99 | 3.89 | 4.10 |
| カルチャータウン地区 【n=34】 | 4.29 | 4.47 | 3.91 | 4.29 | 4.12 | 3.88 | 4.16 |

※第1位 ■ 第2位 ■ 第3位 ■

重要度を地区別にみると、高平地区を除く全ての地区で『支えあい、安全安心に暮らせるまち』が最も高くなっています。全分野の平均は、カルチャータウン地区が4.16ポイントと最も高くなっています。次いで、高平地区(4.13ポイント)、広野地区及び藍地区(各4.12ポイント)の順となっています。

一方、全分野の平均で最も低いのは、三輪地区の3.99ポイントとなっています。

調 查 票

調査票 ID :

回答所要時間 : 約 5 分

三田市 市民意識調査

日頃は、市政の各般にわたりご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
この調査は、三田市総合計画（※）に掲げるまちづくりを進めるために実施する「一年に一度の調査」であり、今後の市政運営に役立てることを目的に実施しています。

三田市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に3,000人を抽出し、調査票をお送りしています。回答の内容はプライバシーを保護し、他の目的に利用することは一切ございませんので、皆さまの率直なお声をお聴かせくださいますようお願いいたします。

令和6年7月

三田市長 田村克也



（※）三田市総合計画とは

三田市に「住んでよかった」「住み続けたい」と思える取り組みを行うための計画で、令和4年度から第5次三田市総合計画がスタートしています。

▼概要版はこちら



【まちづくりの基本目標】 「ひと」×「まち」×「さと」が織りなす未来都市 三田

— 市民意識調査に回答するとどうなるの？ —

①市民意識調査票を記入



市政への
皆さまの思いを回答として
市に伝えることができます！

②市は結果を分析し、まちづくりを計画



皆さまの回答をもとに
市の「これから」を考えます！

③「住みたい」「住み続けたい」と
思えるまちへ

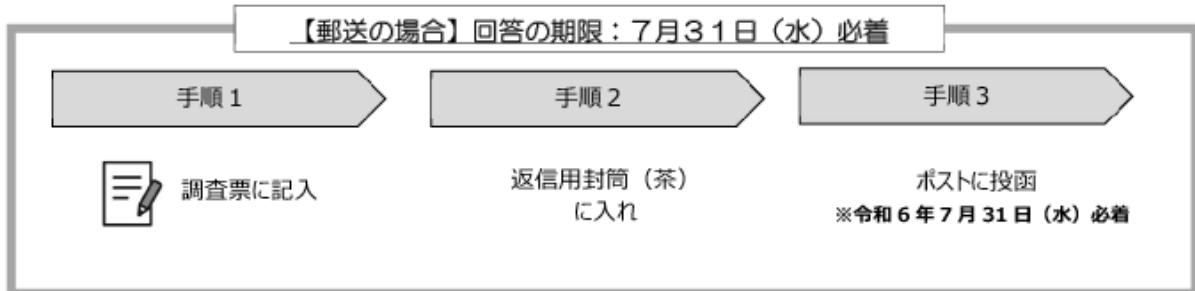


皆さまのご協力で
よりよい三田市に！

この機会にぜひ回答のご協力をお願いします！

「市政参加市民名簿への登録」（別紙）のご案内を同封していますので、あわせてご覧ください。

— 回 答 方 法 —



調査結果の概要は、調査報告書が完成次第、市のホームページなどを通じて報告いたします。

◎ご質問などがございましたら、下記までお問い合わせください。

三田市 総合政策部 政策課

電 話 (079) 559-5038 (直通)

ファクス (079) 563-1366

— あなたご自身のことについておたずねします —

問1 あなたがお住まいの地区を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 三田地区 | 6 藍地区 |
| 2 三輪地区 | 7 本庄地区 |
| 3 広野地区 | 8 フラワータウン地区 |
| 4 小野地区 | 9 ウッディタウン地区 |
| 5 高平地区 | 10 カルチャータウン地区 |

問2 令和6年7月1日現在のあなたの年齢を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 10歳代 | 5 50歳代 |
| 2 20歳代 | 6 60歳代 |
| 3 30歳代 | 7 70歳代 |
| 4 40歳代 | 8 80歳以上 |

問3 あなたの世帯構成を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 単身世帯(ひとり暮らし) | 4 三世帯世帯(親と子と孫) |
| 2 夫婦・パートナーのみの世帯 | 5 その他の世帯() |
| 3 二世帯世帯(親と子) | |

問4 あなたのご家族に次の方はおられますか。該当するものを選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 小学校入学前の乳幼児 | 3 65歳以上の方 |
| 2 小学生～18歳未満の子ども | 4 「1」～「3」に当てはまる家族はいない |

問5 あなたの職業を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|----------|
| 1 自営業(農業を含む) | 5 家事専業 |
| 2 勤め人 | 6 無職 |
| 3 パート・アルバイト | 7 その他() |
| 4 学生 | |

【問5で「1 自営業(農業を含む)」、「2 勤め人」、「3 パート・アルバイト」、「4 学生」を選択した方にお聞きします。】

問6 通勤・通学先や事業を営んでいる場所を選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------------|--------|
| 1 三田市内 | 2 三田市以外の兵庫県内 | 3 兵庫県外 |
|--------|--------------|--------|

— まちづくりなどについておたずねします —

1.健康づくりについて

問7 あなたは、日常生活で健康づくりに取り組んでいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 大いに取り組んでいる | 3 あまり取り組んでいない |
| 2 少しは取り組んでいる | 4 何も取り組んでいない |

問8 あなたは、週一回以上運動やスポーツをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

問9 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

2.市政情報や地域の方との関わりについて

問10 あなたは、広報さんだに掲載されるまちの課題や市民活動に関する特集等を読んでいますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------|----------|
| 1 読んでいる | 2 読んでいない |
|---------|----------|

問11 あなたは、隣近所の人と「困った時に助け合うことができる」と思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------|--------|
| 1 思う | 2 思わない |
|------|--------|

問12 あなたは、隣近所の人とどの程度の付き合いをしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 困った時に助け合っている | 3 会えば挨拶をする程度 |
| 2 世間話や立ち話をする程度 | 4 全く付き合いをしていない |

問13 あなたは、地域活動(自治会の活動やボランティアの活動など)に参加していますか。
(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| 1 現在参加している | 3 現在参加しておらず、今後も参加したいと思わない |
| 2 現在参加していないが、今後参加したい | |

問 24 SDGs^{※1} (持続可能な開発目標) についてお聞きします。

三田市は令和5年度に、国(内閣府)からSDGs未来都市^{※2}として選ばれました。

「SDGs」の17のゴールの中で、あなたが興味のあるジャンルはどれですか。

(○はいくつでも)

- | | | | | | | | | | |
|----|--|----|---|----|---|----|---|----|--|
| 1 |  1 貧困をなくそう | 2 |  2 飢餓をゼロに | 3 |  3 すべての人に健康と福祉を | 4 |  4 質の高い教育をみんなに | 5 |  5 ジェンダー平等を実現しよう |
| 6 |  6 安全な水とトイレを世界中に | 7 |  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 |  8 働きがいも経済成長も | 9 |  9 産業と技術革新の基盤をつくろう | 10 |  10 人や国の不平等をなくそう |
| 11 |  11 住み続けられるまちづくりを | 12 |  12 つくる責任つかう責任 | 13 |  13 気候変動に具体的な対策を | 14 |  14 海の豊かさを守ろう | 15 |  15 陸の豊かさを守ろう |
| 16 |  16 平和と公正をすべての人に | 17 |  17 パートナリシップで目標を達成しよう | 18 | 関心がない | | | | |

※1 SDGs: Sustainable Development Goals の略であり、平成27年(2015年)9月の国連サミットにおいて採択された国際社会の共通目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、令和12年(2030年)を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されます。

※2 SDGs未来都市: 国(内閣府)が優れたSDGsの取り組みを提案した地方自治体を選定するもので、令和5年度は本市を含め28の自治体選ばれました。三田市では、SDGsの理念に基づき、第5次総合計画によるまちづくりを推進しています。

問 25 第 5 次総合計画で定める次の施策体系のうち、三田市がこれまで進めてきたまちづくりの各分野に関する「満足度」と、これからのまちづくりを進めていくうえでの「重要度」について、それぞれ 5 段階であなたの考えに最も近い番号を 1 つずつ選んで○をつけてください。

| | | 現在の満足度 | | | | | 今後の重要度 | | | | |
|---------------------------|---|--------|---|-----|---|---|--------|---|--------|---|---|
| | | 満足← | | →不満 | | | 重要← | | →重要でない | | |
| (記入例) 1 「ひと」のチカラを育み、活きるまち | | 5 | 4 | ③ | 2 | 1 | 5 | ④ | 3 | 2 | 1 |
| 1 | 「ひと」のチカラを育み、活きるまち ～輝く人づくり～ 例：人権・共生のまちづくり 地域で支えるまちづくり 健康づくり 乳幼児期の育ち 地域ぐるみの子育て 学校教育の充実 若者が集うまち いつまでも学び、活躍できるまちづくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2 | 支えあい、安全安心に暮らせるまち ～やすらぎづくり～ 例：地域医療の安心 生活の安全安心・非常時への備え 子ども・子育ての安心 高齢者の安心 障害のある人の安心 心つながる暮らしの安心 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3 | “三田らしい”活力と交流のあるまち ～にぎわいづくり～ 例：商工業の振興 農業の振興 観光・交流・文化の振興 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4 | 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち ～快適づくり～ 例：まちの再生 良好な住まい 交通ネットワーク | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5 | 「さと」の恵みを守り、活かすまち ～うるおいづくり～ 例：水の保全 里山・自然の保全 持続可能な環境づくり | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6 | まちづくりの進め方 例：協働・共創のまちづくり 行政経営 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |



質問は以上で終わりです、ご協力ありがとうございました。
この調査票を、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

7月31日(水)までにポストへ投函してください